

信州みちビジョン



目次

1	はじめに	1
2	道路を取り巻く現状と課題	3
3	基本目標・基本方針	9
4	重点分野と施策の展開	11
	重点分野Ⅰ 県土の強靱性	15
	重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし	21
	重点分野Ⅲ 観光や産業の振興	29
5	施策の目標	35
6	重点施策	37
7	主な事業箇所	47
	参 考	67
	用語解説 (本文中の「※」の用語)	69

※ 表紙のイラストは、本ビジョンの基本方針のめざす姿をイメージしています。

1 はじめに

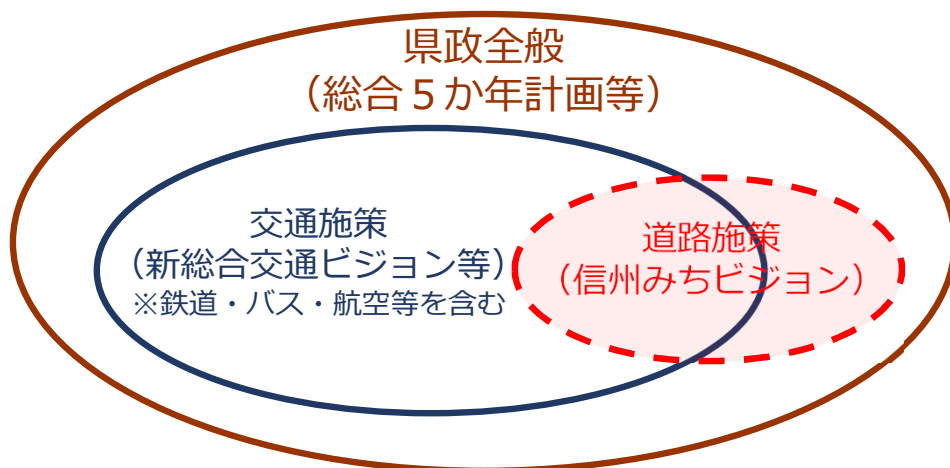
◆改定の背景と目的

長野県では、道路の整備・活用などについて10年間（2018年度～2027年度）の方向性を示す「信州みちビジョン」を2018年3月に策定しました。

策定から5年間において、自然災害の激甚化・頻発化や脱炭素社会の取組み、急速なIT技術の進展など、社会情勢は大きく変化しています。これに伴い、道路事業を取り巻く新しい課題が発生し、道路施策や活用の在り方にも新たな取組みが見られるようになりました。

このことから、計画期間の中間年をむかえ、本ビジョンの目標達成状況を確認し、中間評価を行うとともに、現状の課題や対策の見直しを踏まえて、本県の今後の道路事業の方向性を改めて県民の皆さまに示すことを目的とします。

- 本ビジョンの位置付け



- 本ビジョンの期間

期間	2018年		2027年
	2013～2017年	2018～2022年	2023～2027年
総合5か年計画	▶	▶	▶
新総合交通ビジョン	▶		
信州みちビジョン		▶	▶

今回改定

◆信州みちビジョンのめざす姿

県では2035年の長野県の将来像を展望し、これを実現するための今後5年間の行動計画として、長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」を策定しました。

その中で掲げられた長野県の将来像から、道路分野に関わる内容を整理し、本ビジョンのめざす姿として共有します。

長野県総合5か年計画 しあわせ信州創造プラン3.0

基本目標

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る



道路分野に関する施策とめざす姿

1 持続可能で安定した暮らしを守る

○持続可能な脱炭素社会の創出

- ・2050ゼロカーボンの達成に向けて、徹底的な省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの普及拡大の取組により、温室効果ガス排出量の削減が着実に進んでいます。

○災害に強い県づくりの推進

- ・過去の災害の教訓を踏まえたインフラ整備の推進や地域防災力の強化により、激甚化・頻発化する自然災害から、県民の生命と財産が守られています。

○社会的なインフラの維持・発展

- ・施設の統廃合や共有、管理の共同化などにより、持続可能なインフラ管理体制が構築され、人口減少下においても県民の安全・安心な生活が維持されています。

○県民生活の安全確保

- ・社会情勢の変化に伴い複雑化・多様化する犯罪や、交通事故、食品・医薬品等の安全など、日々の生活に影響を及ぼす様々なリスクが最小化され、県民の安全・安心な生活が維持されています。

2 快適でゆとりのある社会生活を創造する

○地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進

- ・自然とのふれあいや森林の多面的な利活用、農ある暮らし[※]、都市緑化などにより、県民が快適でおいしいのある暮らしを送っています。

○本州中央部広域交流圏[※]の形成

- ・高速交通網等が整備され、地域間交流や観光の促進、県内産業の更なる発展につながっています。

○世界水準の山岳高原観光地づくりの推進

- ・コロナ禍で停滞した観光交流が回復し、観光産業の活性化や地域課題の解決が図られ、暮らす人も訪れる人も長野県を楽しんでいます。

2 道路を取り巻く現状と課題

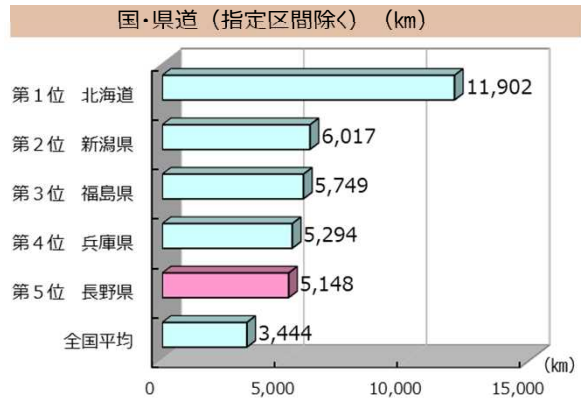
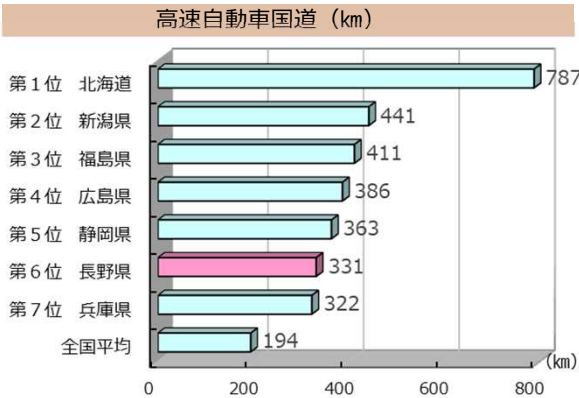
◆長野県の道路の現状

本県の道路は、道路延長が、高速自動車国道で全国第6位、国・県道で全国第5位となっており、全国平均より長くなっています。

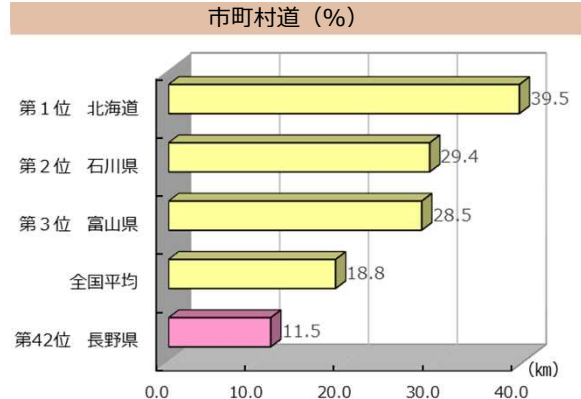
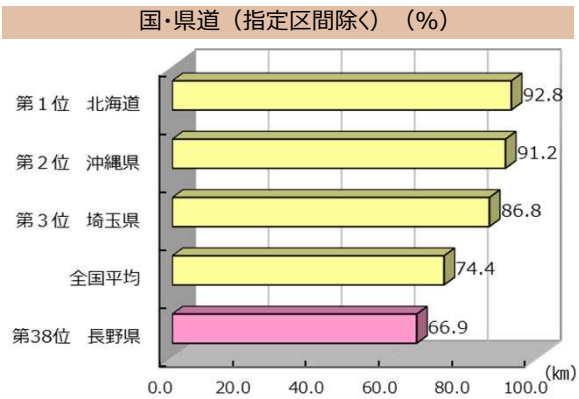
一方、国・県道の改良率は66.9%で全国第38位、歩道の設置率も全国第38位となっており、全国に比べても低い整備水準となっています。

また、人口千人当たりの自動車保有台数が全国第2位であり、本県での生活は自動車に依存していることが表れています。

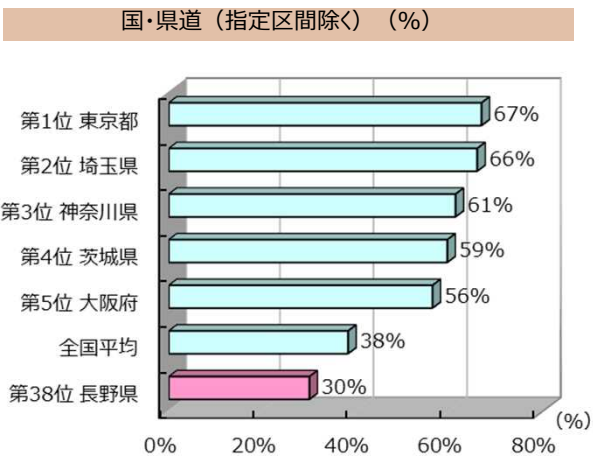
● 道路延長



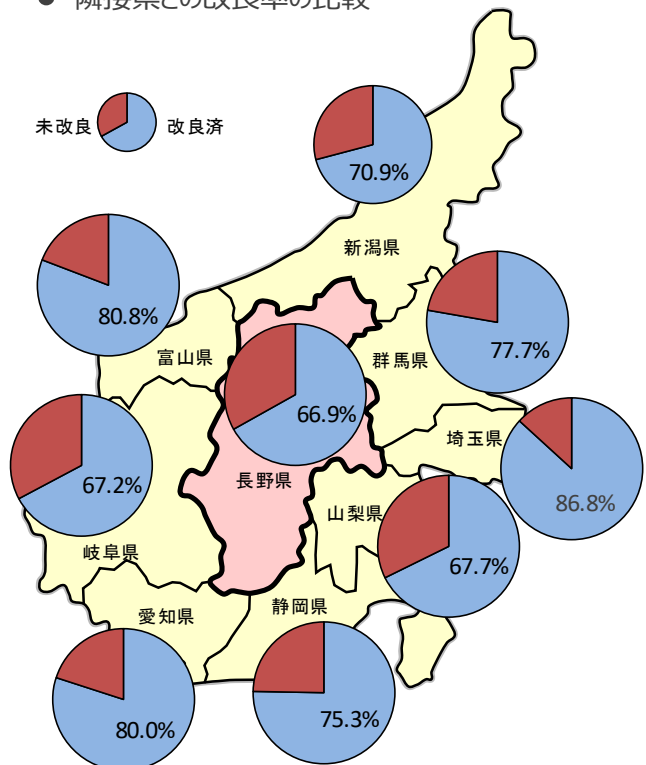
● 改良率 (車道幅員 5.5 m以上)



● 歩道設置率

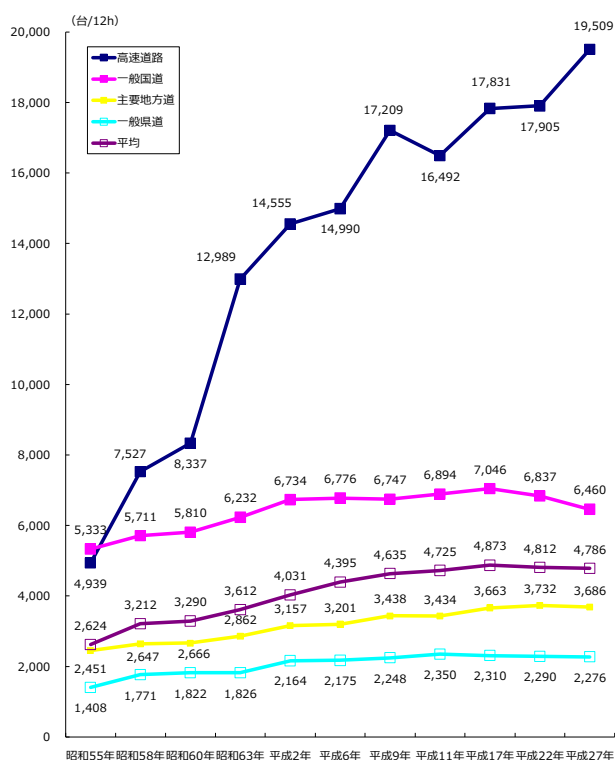


● 隣接県との改良率の比較



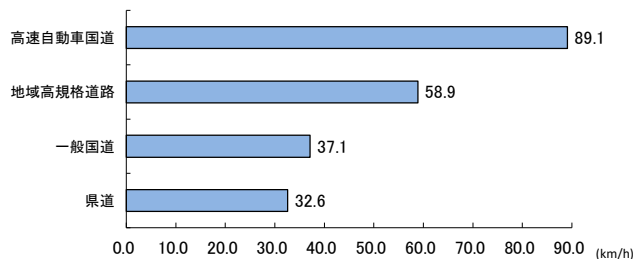
出典：道路統計年報2022

● 長野県の平均交通量の推移

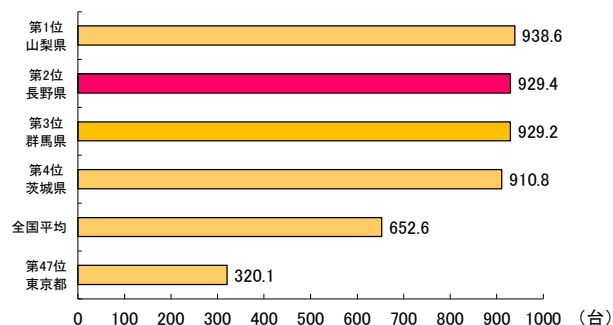


出典：長野県建設部「平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査報告書」

● 道路種別毎の昼間非混雑時旅行速度



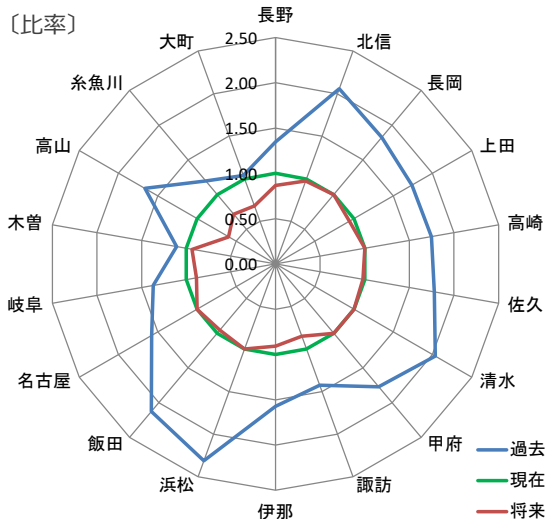
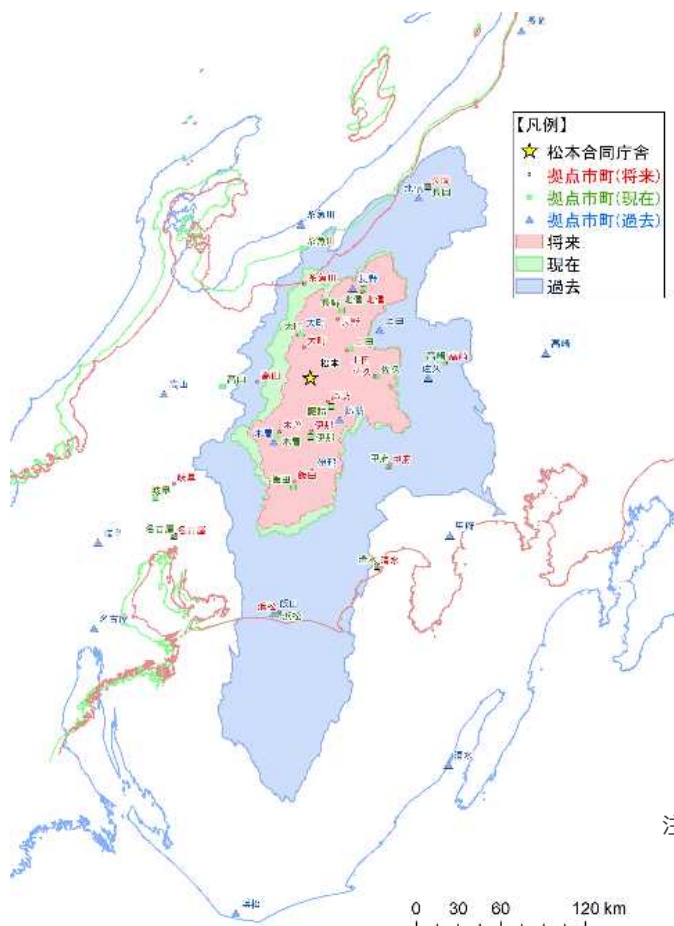
● 人口千人当たりの自動車保有台数 (令和3年3月末時点)



出典：一般財団法人長野県自動車標板協会「長野県保有自動車実勢表」

● 時間距離

現在の道路網における松本合同庁舎から各拠点市町への所要時間を標準とし、過去と将来の所要時間を比率で図示



出典：全国道路・街路交通情勢調査(H27)をもとに算出

過去：1968年（県内は高速道路なし）
将来：事業中・調査中の路線や箇所等が完成した時点

注) 県内の地点名は、建設事務所名を表示し、位置は合同庁舎所在地とした。
県外の主な地点は、市名を表示し、位置は市役所等の所在地とした。

◆社会情勢の変化と今後強化していくべき課題

信州みちビジョン策定後における長野県を取り巻く社会情勢の変化や最新の県民ニーズを踏まえ、今後の道路施策で強化していくべき課題を次のとおりとします。

社会情勢の変化

- ① 令和元年東日本台風などによる県内の被災
- ② 集団登校中に発生した通学路での事故
- ③ 重要物流道路※の指定、「長野県広域道路交通計画」の策定
- ④ 「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」の施行、「長野県自転車活用推進計画」の策定
- ⑤ 「長野県ゼロカーボン戦略」の策定
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症に伴う急速なライフスタイルの変化
- ⑦ 「歩行者利便増進道路制度(ほこみち制度※)」の創設
- ⑧ 「信州まちなかグリーンインフラ※推進計画」の策定

県民ニーズの把握(R3県政モニター)

H29県政モニターから変化せずニーズの高い項目

- ・生活道路や幹線道路の整備
- ・こまめな道路の維持管理
- ・歩道や自転車道の整備

H29県政モニターからニーズが増加した項目

- ・落石や土砂災害への対策

今後強化していくべき課題

- 自然災害の激甚化・頻発化に伴う災害に強い道づくり
- 身近な生活道路で発生する歩行者・自転車事故の軽減
- 道路インフラの省エネ化・グリーン化
- 人中心とした賑わいのある道路空間の活用

◆社会情勢と課題の整理

今後強化していくべき課題を踏まえ、信州みちビジョン策定時に提示した課題を見直しました。

1 人口減少・高齢化の進行

- 高齢化の進展による歩道整備に対するニーズの高まりへの対応
- 高齢者の救急搬送者数の増加・日常における通院頻度の上昇への対応

2 持続可能な社会への移行

- 道路インフラの省エネ化、都市の郊外化や高い車依存からの脱却による温室効果ガスの削減
- 誰もが利用しやすい道路環境づくり
- コンパクト + ネットワーク※の形成
- まちなかにおけるグリーン化による自然環境や景観への配慮
- 人中心とした賑わいのある道路空間の活用

3 事故・災害・老朽化等に対する安全性の確保

- 事故割合が年々増加する高齢者事故の軽減
- 通学路など身近な道路で発生する歩行者・自転車事故の軽減
- 自然災害の激甚化・頻発化に伴う災害に強いみちづくり
- 道路施設の老朽化に伴う計画的な補修や更新

4 社会の広域化・国際化

- 通勤圏など生活圏域拡大への対応
- 大都市圏へのアクセス性の地域間格差解消
- リニア中央新幹線※開通効果の波及
- インバウンド回復への対応

5 高度情報化社会の進展

- 交通量等のビッグデータ※の道路計画への活用
- ICT※等を通じた情報収集、自動運転やAI※(人工知能)技術の活用
- 施工・管理における3次元データの効率的・効果的な活用

6 限られた予算

- 選択と集中による効率的・効果的な事業進捗
- ソフト事業やICT※等を活用した更なる事業の効率化
- 関係機関との連携による効果の最大化

アンダーラインは今回強化箇所

1 人口減少・高齢化の進行

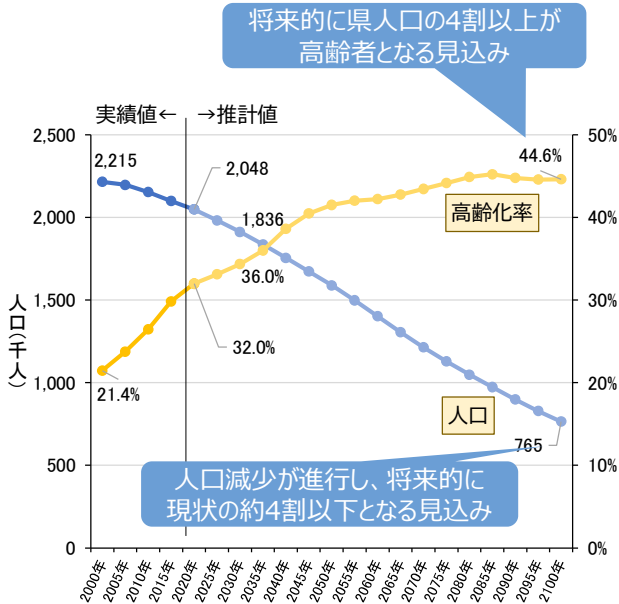
現状

- ・長野県では、早いペースで人口減少、高齢化が進行
- ・搬送者数と高齢者割合の増加

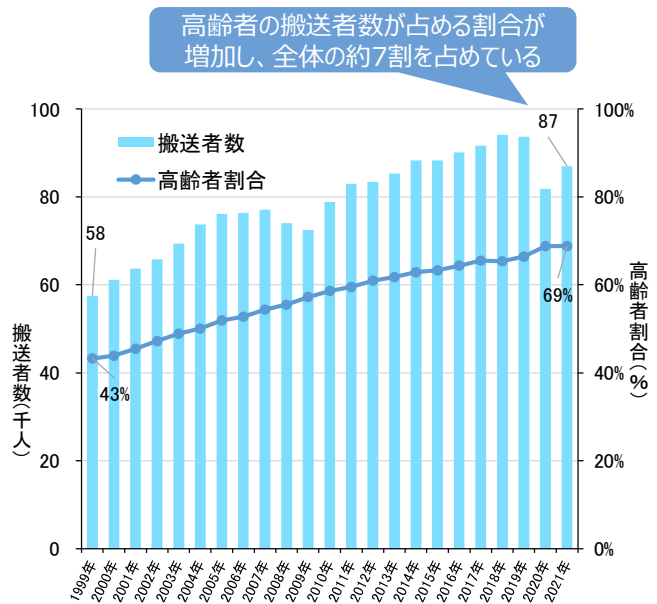
課題

- ・高齢化の進展による歩道整備に対するニーズの高まりへの対応
- ・高齢者の救急搬送者数の増加・日常における通院頻度の上昇への対応

● 人口と高齢化率の推移



● 搬送者数と高齢者割合の推移



※2020年までは国勢調査結果
2025年以降は長野県企画振興部推計

出典：R4消防統計（長野県）

2 持続可能な社会への移行

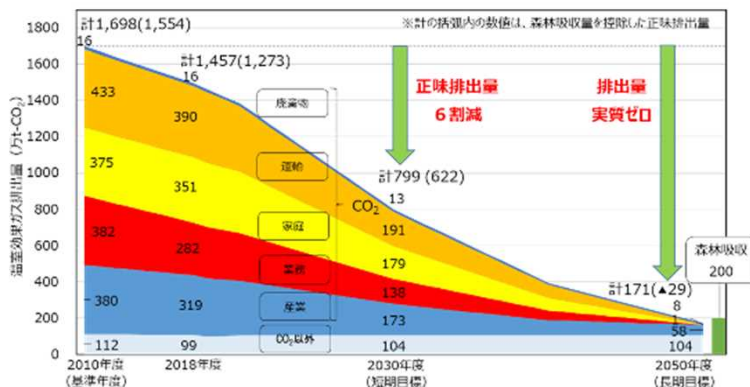
現状

- ・都市の郊外化の進行と高い車依存
- ・本県では2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロを決意表明
- ・人中心とした道路空間の利用に関するニーズの高まり

課題

- ・道路インフラの省エネ化、都市の郊外化や車依存からの脱却による温室効果ガスの削減
- ・誰もが利用しやすい道路環境づくり
- ・コンパクトシティ化※ + ネットワーク化の形成
- ・まちなかにおけるグリーン化による自然環境や景観への配慮
- ・人中心とした賑わいのある道路空間の活用

● 温室効果ガス正味排出量の削減目標



出典：長野県環境部

● 賑わいのある道路空間の活用



下諏訪町 下諏訪駅前

3 事故・災害・老朽化等に対する安全性の確保

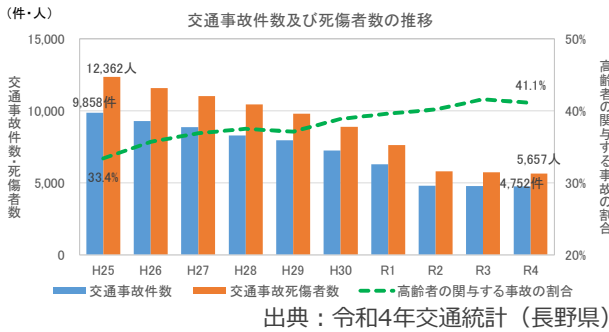
現状

- ・長野県では、事故件数が年々減少傾向にあるが、高齢者事故の割合は増加傾向
- ・近年、通学路など身近な道路での大きな事故が発生
- ・令和元年東日本台風など激甚化する災害により、長野県にも大きな被害が発生
- ・橋梁等の道路施設の老朽化が進行

課題

- ・事故割合が年々増加する高齢者事故の軽減
- ・通学路など身近な道路で発生する、児童をはじめとした歩行者・自転車事故の軽減
- ・自然災害の激甚化・頻発化に伴う災害に強いみちづくり
- ・道路施設の老朽化に伴う計画的な補修や更新

● 交通事故の発生状況



● 災害の発生状況



(主)丸子東部インター線
東御市 田中橋
(令和元年東日本台風)



(国)418号 天龍村 早木戸
(令和2年1月)

4 社会の広域化・国際化

現状

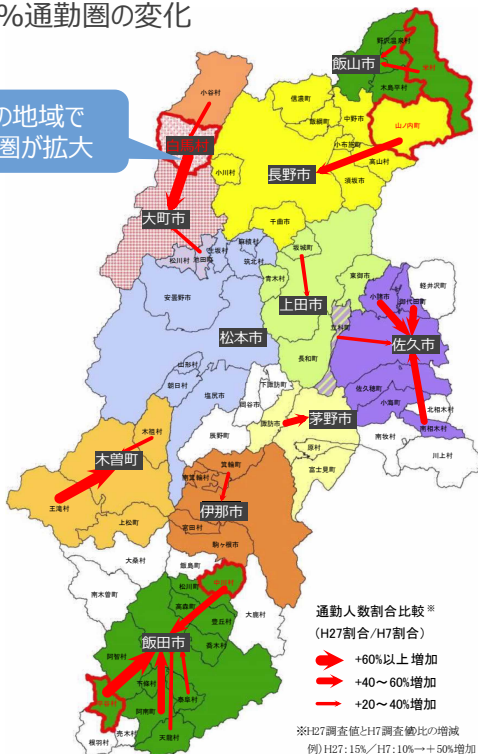
- ・通勤圏などの生活圏域の拡大
- ・大都市圏へのアクセス性に地域間格差が存在
- ・リニア中央新幹線※が開業予定
- ・コロナ禍におけるインバウンドの落ち込み

課題

- ・通勤圏など生活圏域拡大への対応
- ・大都市圏へのアクセス性の地域間格差解消
- ・リニア中央新幹線※開通効果の波及
- ・インバウンド回復への対応

● 10%通勤圏の変化

多くの地域で
通勤圏が拡大



● リニア中央新幹線※想定所要時間



● 外国人延泊者数の推移



出典：外国人延泊者数 観光庁利用者統計調査
外国人延泊者数伸び率 長野県観光地利用統計調査

(市町村名) で表示する市町村へ、住民の10%以上が通勤している市町村を同色で着色
(市町村名) は、H7調査とH27調査を比較した結果、新たに10%通勤圏に含まれた市町村

5 高度情報化社会の進展

現状

- ・DX※の進展による超スマート社会※への急速な変化
- ・インターネットを利用した道路情報カメラやSNS等の情報提供環境の発達

課題

- ・交通量等のビッグデータ※の道路計画への活用
- ・ICT ※等を通じた情報収集、自動運転やAI※（人工知能）など新技術の活用
- ・施工・管理における3次元データの効率的・効果的な活用



(国) 256号 飯田市 下久堅バイパス(橋梁設計の3次元データ)

6 限られた予算

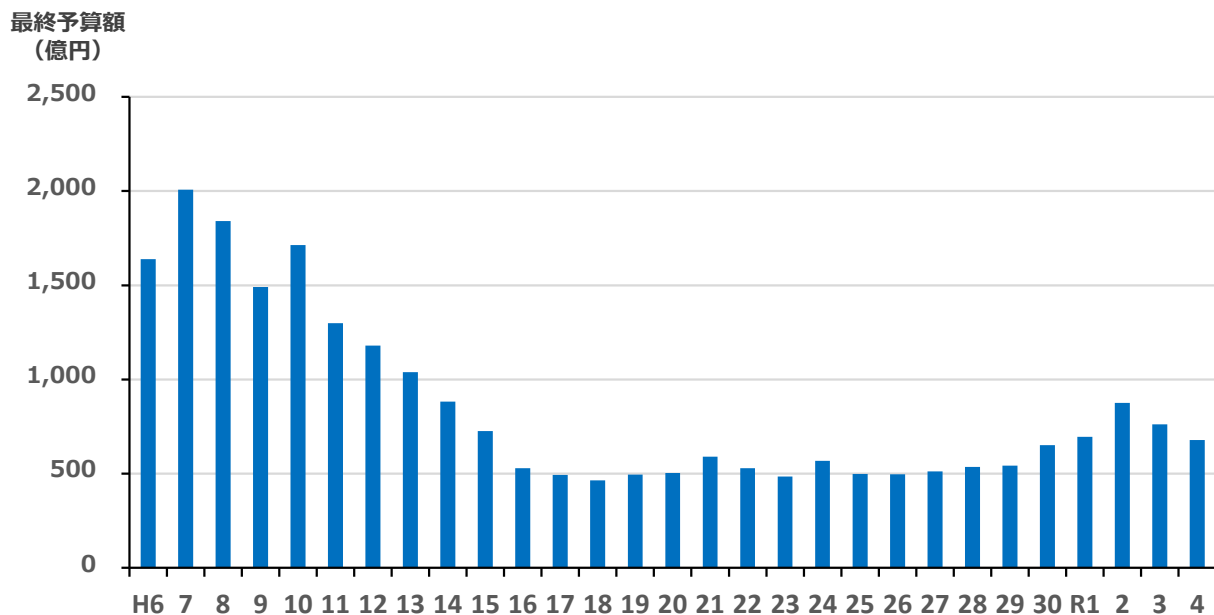
現状

- ・対策が必要な箇所が多くあるが予算制約下において十分な対応ができていない状況
- ・課題を解決するためハード及びソフト事業による一体的な対策を実施

課題

- ・選択と集中による効率的・効果的な事業進捗
- ・ソフト事業やICT ※等を活用した更なる事業の効率化
- ・関係機関との連携による効果の最大化

- 道路関係予算(最終予算額)の推移



出典：長野県建設部調べ

3 基本目標・基本方針

◆基本目標

長野県総合5か年計画が示す将来像や道路関連の課題等を踏まえた上で、以下を基本目標とします。

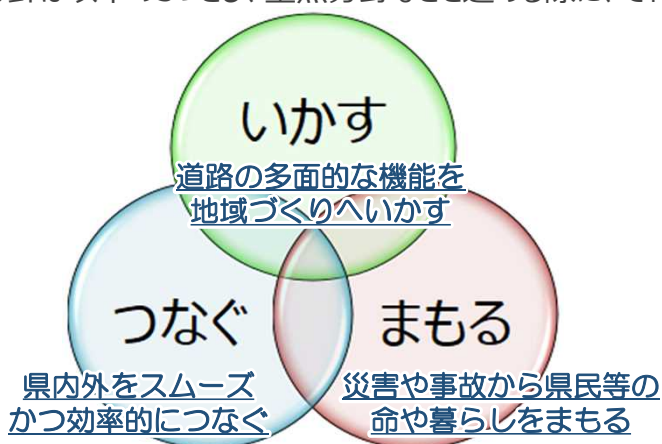
つなぐ・まもる・いかす 信州のみちづくり

人口減少・高齢化の進行、事故・災害・老朽化等に対する安全性の確保への対応など、限られた予算の中で解決するためには、道路を「**つなぐ**」ことに加え、命や暮らしを「**まもる**」こと、地域づくりへ「**いかす**」ことが求められています。

この3要素をバランスよく進めていくことが重要であるため、上記を本ビジョンの基本目標とします。

◆基本方針

本ビジョンの基本方針は以下の3つとし、重点分野などを進める際に、それぞれの方針を反映させるものとします。



◆基本方針のイメージ



めざす姿

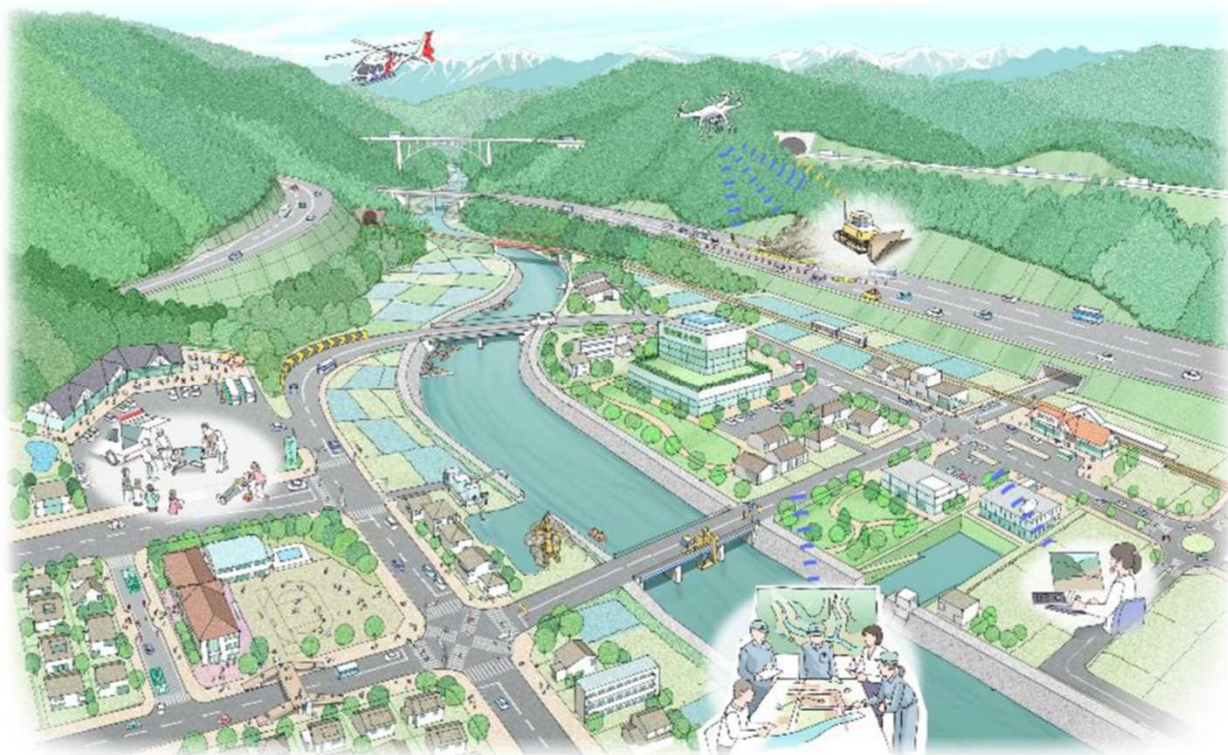
本州中央部広域交流圏※が形成され、県外・海外からの観光のほか、県内への移住・多様なかかわりが活発に行われ、暮らす人も訪れる人も長野県を楽しんでいます。



まもる

めざす姿

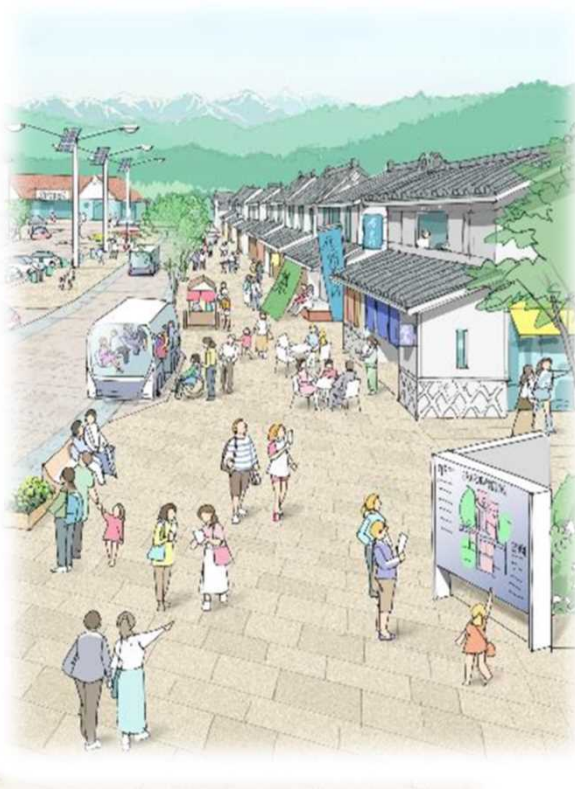
災害に強い県づくりが進み、激甚化・頻発化する自然災害から県民の生命・財産が守られ、社会的なインフラが維持されるとともに、交通事故の少ない社会で、誰もが安心して日常生活を送っています。



いかす

めざす姿

まちなかを中心に地域の特色を活かした道路整備により、ゆとりや賑わい、居心地がよい、歩きたくなる空間になっています。



4 重点分野と施策の展開

基本目標及び基本方針をふまえ、3点を重点分野とし、それぞれの分野ごとに施策を展開します。

重点分野Ⅰ 県土の強靱性

激甚化・頻発化する災害に備え、安心して住み続けられる地域をめざします。

近年、激甚化・頻発化する災害に対応するため、重要物流道路※や緊急輸送道路※などの強化、災害時における関係機関との連携した体制づくりなどを進め、ハード・ソフト両面から災害に強いみちづくりを進めます。また、新たな技術を積極的に活用した効率的な点検や適正な維持管理の実施により、インフラの長寿命化をめざします。

SDGsへの貢献

施策(1) 災害に強い みちづくり



施策(2) 災害対応の迅速化をめざした みちづくり



施策(3) いつでも安心して移動できる みちづくり



重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

子どもからお年寄りまで、皆が快適に暮らせる、持続可能な地域をめざします。

人口減少への対応として道路の集約や連携を強化するとともに、環境にやさしい社会の実現のため、公共交通の利用促進や誰もが利用できる道路環境の創出を進めます。

また、道路空間の多様な活用により、歩きたくなるみちづくりをめざします。

SDGsへの貢献

施策(1) 誰もが安全に移動できる みちづくり



施策(2) 脱炭素社会の実現に向けた みちづくり



施策(3) 歩きたくなる みちづくり



施策(4) 快適な暮らしを支える みちづくり



重点分野Ⅲ 観光や産業の振興

観光や産業の振興を通して、成熟した豊かな地域をめざします。

自然を生かした観光や各地域の強みである産業等の支援をさらに進めるため、県内の地域間の周遊性や県内外へのアクセス性の向上をめざします。

また、道路環境整備により、信州を訪れる人が快適で誰もが観光を楽しめるみちづくりをめざします。

SDGsへの貢献

施策(1) 人・モノ・サービスが行き交う みちづくり



施策(2) ストレスなく快適に移動できる みちづくり



施策(3) 観光を満喫できる みちづくり



◆長野県総合5か年計画と本ビジョンにおける施策との関連づけ

長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」と本ビジョンにおける施策との関連を以下に示します。

本ビジョンにおける基本目標	重点分野	施策	長野県総合5か年計画 「しあわせ信州創造プラン3.0」						
			持続可能で安定した暮らしを守る			快適でゆとりのある社会生活を創造する			
			持続可能な脱炭素社会の創出	災害に強い県づくりの推進	社会的なインフラの維持・発展	県民生活の安全確保	地域の特色と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進	本州中央部広域交流圏※の形成	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進
つなぐ・まもる・いかす 信州のみちづくり	Ⅰ 県土の強靱性	(1) 災害に強い みちづくり		●					
		(2) 災害対応の迅速化をめざしたみちづくり		●					
		(3) いつでも安心して移動できるみちづくり			●				
	Ⅱ 持続可能で快適な暮らし	(1) 誰もが安全に移動できるみちづくり				●			
		(2) 脱炭素社会の実現に向けたみちづくり	●						
		(3) 歩きたくなる みちづくり					●		
		(4) 快適な暮らしを支えるみちづくり						●	
	Ⅲ 観光や産業の振興	(1) 人・モノ・サービスが行き交うみちづくり						●	
		(2) ストレスなく快適に移動できるみちづくり							●
(3) 観光を満喫できる みちづくり								●	

◆課題と対応する施策

本ビジョンにおいて示した課題と対応する施策との関連を以下に示します。

本ビジョンにおける基本目標	重点分野	施策	課題1		課題2				
			人口減少・高齢化の進行		持続可能な社会への移行				
			高齢化の進展による歩道整備に対するニーズの高まり	高齢者の救急搬送者数の増加・日常における通院頻度の上昇への対応	道路インフラの省エネ化、都市の郊外化や高い車依存からの脱却による温室効果ガスの削減	誰もが利用しやすい道路環境づくり	コンパクト＋ネットワーク※の形成	景観への配慮	まちなかにおけるグリーン化による自然環境や
つなぐ・まもる・いかす 信州のみちづくり	I 県土の強靱性	(1) 災害に強い みちづくり		●					
		(2) 災害対応の迅速化をめざしたみちづくり							
		(3) いつでも安心して移動できるみちづくり							
	II 持続可能で快適な暮らし	(1) 誰もが安全に移動できるみちづくり	●		●	●			
		(2) 脱炭素社会の実現に向けたみちづくり		●	●	●	●	●	
		(3) 歩きたくなる みちづくり	●		●	●	●	●	●
		(4) 快適な暮らしを支えるみちづくり	●	●	●	●	●		
	III 観光や産業の振興	(1) 人・モノ・サービスが行き交うみちづくり		●					
		(2) ストレスなく快適に移動できるみちづくり	●	●	●	●			●
(3) 観光を満喫できる みちづくり		●		●	●		●	●	

課題3 事故・災害・老朽化等に対する安全性の確保				課題4 社会の広域化・国際化				課題5 高度情報化社会の進展			課題6 限られた予算			
事故割合が年々増加する高齢者事故の軽減	身近な道路で発生する歩行者・自転車事故の軽減	自然災害の激甚化・頻発化に伴う災害に強いみちづくり	道路施設の老朽化に伴う計画的な補修や更新	通勤圏など生活圏域拡大への対応	大都市圏へのアクセス性の地域間格差解消	リニア中央新幹線 [※] 開通効果の波及	インバウンド回復への対応	交通量等のビッグデータ [※] の道路計画への活用	AI [※] (人工知能) など新技術の活用	ICT [※] 等を通じた情報収集、自動運転や	施工・管理における3次元データの効率的・効果的な活用	選択と集中による効率的・効果的な事業進捗	ソフト事業やICT [※] 等を活用した更なる事業の効率化	関係機関との連携による効果の最大化
●		●	●		●	●						●		
		●	●						●	●	●	●	●	●
			●					●	●	●	●	●	●	
●	●						●					●		
		●	●	●	●	●	●					●		
		●	●	●	●	●	●				●	●		●
							●				●	●	●	●

🍎 重点分野 I 県土の強靱性

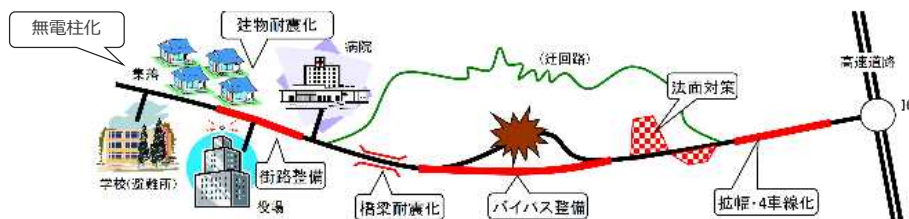
(1) 災害に強い みちづくり

重要物流道路※などの整備や緊急輸送道路※の強靱化、土砂崩れや豪雪への対策などにより、災害に強いみちづくりをめざします。

施策の展開

- ① 重要物流道路※や代替・補完路※の整備
(高規格道路のミッシングリンク※解消など)
- ② 緊急輸送道路※の強靱化
- ③ 災害時における輸送・避難空間の確保 (無電柱化※など)
- ④ 落石や土砂崩落への対策
- ⑤ 防雪・消雪対策や効果的・効率的な除融雪
- ⑥ ラウンドアバウト※の整備

● 緊急輸送道路※の整備イメージ



● 道路区域外から落石等危険の恐れがある道路法面の調査イメージ



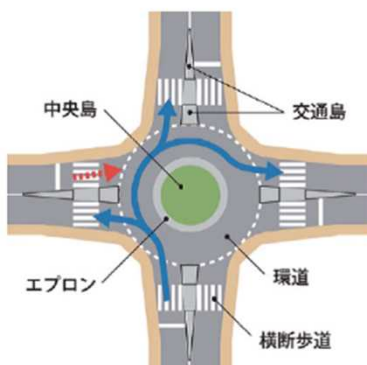
(国)151号 阿南町 落合

● 緊急輸送道路※の整備例



(国)158号 松本市 狸平

● ラウンドアバウト※の整備例



概念図



高森町 下市田

取組事例① 一般国道403号 筑北村～安曇野市 矢越防災

線形不良、幅員狭小であるとともに土砂崩落等による通行止めがたびたび発生していましたが、バイパスの整備により安全・安心な交通を確保し、代替・補完路※の機能を強化しました。

■ 重要物流道路※や代替・補完路※の整備

● 整備前



● 整備後



取組事例② 一般国道151号 阿南町 落合

土砂崩落による通行止めが多発していた緊急輸送道路※である一般国道151号において、道路法面の防災対策により法面の安定化を図りました。(過去5年間で3回、最大2日間通行止め)

■ 緊急輸送道路※の強靱化

● 整備前



● 整備後



令和5年6月2～3日豪雨
連続234mm、時間最大29mm(阿南観測所(気))
県内21路線28箇所まで全面通行止め発生

一般国道151号
被害なし・通行止めなし

(2) 災害対応の迅速化をめざした みちづくり

災害による影響を最小限に抑えるため、道路の迂回機能の強化や道路情報提供の体制づくりなど災害時の対応を迅速に行えるみちづくりをめざします。

施策の展開

- ① 災害時における道路の迂回機能の強化
- ② 災害拠点としての道の駅の整備（非常用発電設備等の整備）
- ③ 速やかな道路情報提供の体制づくり（通行止め、迂回路の情報提供など）
- ④ 災害時における速やかな道路啓開※の体制づくり（タイムライン作成など）
- ⑤ UAV ※を活用した災害情報の収集
- ⑥ カメラ画像等を活用したAI ※による交通障害の自動検知技術の導入

● 道の駅の防災機能強化例



● ICT ※を活用した道路管理・道路情報提供例 (ライブカメラによる道路状況の確認イメージ)

主要地方道長野須坂インター線
北長池
長野市北長池
2023年5月10日 09:51現在
2023/05/10 09:30:53

● UAV ※活用イメージ



モバイルながのけん
道路交通情報
QRコード



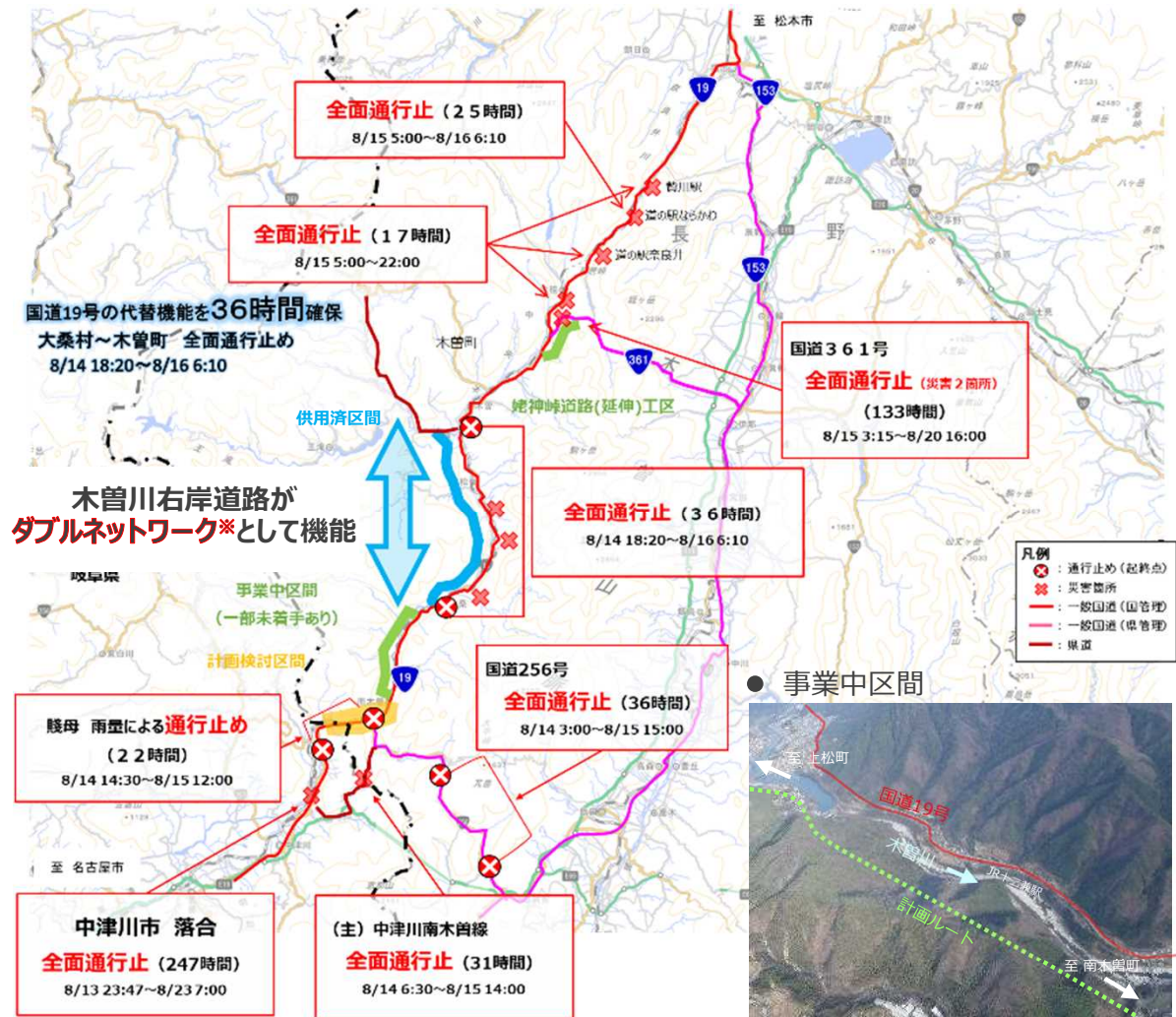
<https://www.pref.nagano.lg.jp/mobile/index.html>

取組事例

一般県道 上松南木曽線(木曽川右岸道路 南部ルート)

令和3年8月豪雨により国道19号が全面通行止めとなった際、本事業区間を含む木曽川右岸道路がダブルネットワーク※としての機能を発揮しました。

■ 令和3年8月豪雨時の通行止め区間と木曽川右岸道路の整備効果



一般県道 上松南木曽線
大桑村～南木曽町 読書ダム～戸場

● 国道19号被災状況



上松町 下河原交差点 (R3.8月)

● 迂回状況



大桑村 須原交差点

重点分野 I 県土の強靱性

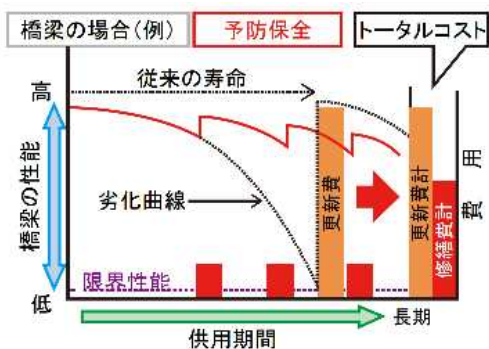
(3)いつでも安心して移動できる みちづくり

新たな技術を導入した道路の定期点検やインフラメンテナンスの強化により、いつでも安心して移動できるみちづくりをめざします。

施策の展開

- ①長寿命化修繕計画※の策定・更新や定期点検の実施
- ②予防保全型のインフラメンテナンスへの転換の推進
- ③新技術を活用したインフラの点検・診断・解析の推進
- ④CIM※データの蓄積による管理システムの効率化・高度化
- ⑤除雪業務の効率化のため除雪機械へのGPS搭載や運転支援システムの導入

● ライフサイクルコストの削減イメージ



従来の事後保全から予防保全・予防管理への転換により維持管理コスト抑制効果等が見込まれる

● 長寿命化修繕計画※に基づいたインフラの適正管理例

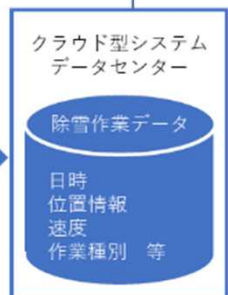


(国)148号 北安曇郡白馬村 松川橋

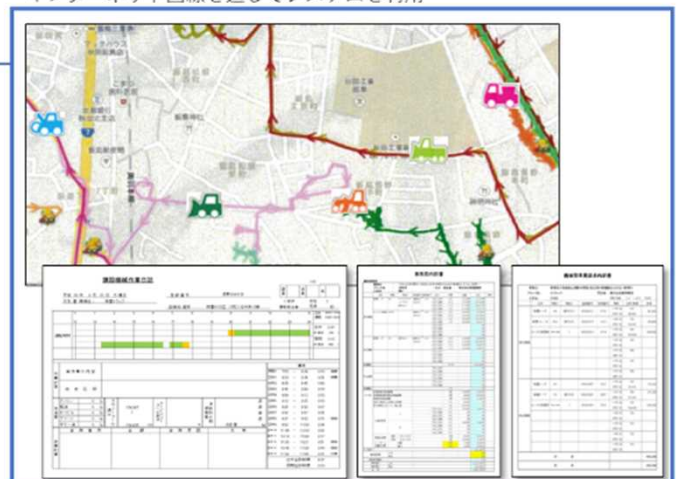
● 除雪機械へのGPS搭載イメージ



GPS端末を除雪車両に設置



インターネット回線を通じてシステムを利用



取組事例① 主要地方道 塩尻鍋割穂高線 松本市 今村橋

昭和6年に建設された今村橋は、老朽化が著しかったため、架け替え工事を行い、通行の安全性を確保しました。

■ 老朽化橋梁の架け替え状況

● 整備前



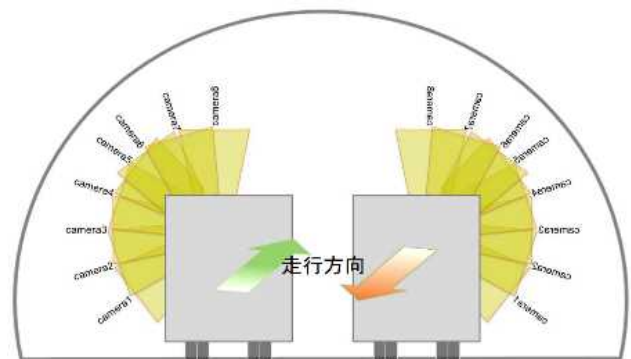
● 整備後



取組事例②

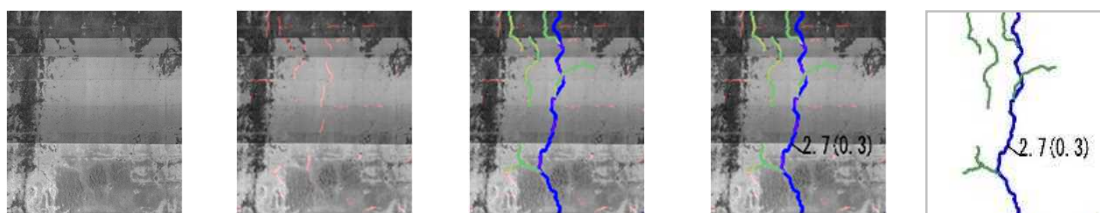
トンネルに計測車両を走らせて取得したカメラ画像から、AI※によりひび割れや漏水等の箇所を抽出しています。新しい技術の活用により、人手による点検に比べ、効率的な点検・維持管理を行っています。

● 計測車両を走らせたトンネルの点検業務



上り/下りのそれぞれの左側カメラの画像を組み合わせて関連画像を作成する。

● トンネル変形展開図作成イメージ



①展開画像

②AI検出画像

③変状トレース

④寸法記入

⑤完成

🍏 重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

(1) 誰もが安全に移動できる みちづくり

歩行者や自転車利用者の安全確保に向けた対策や、高齢者や障がい者などに配慮した道路のユニバーサルデザイン※化により、誰もが安全に移動できるみちづくりをめざします。

施策の展開

- ①歩道や自転車通行空間の整備
- ②生活道路および通学路の交通安全対策
- ③踏切道の安全対策
- ④歩道のユニバーサルデザイン※化の推進

● 通学路の点検作業の様子

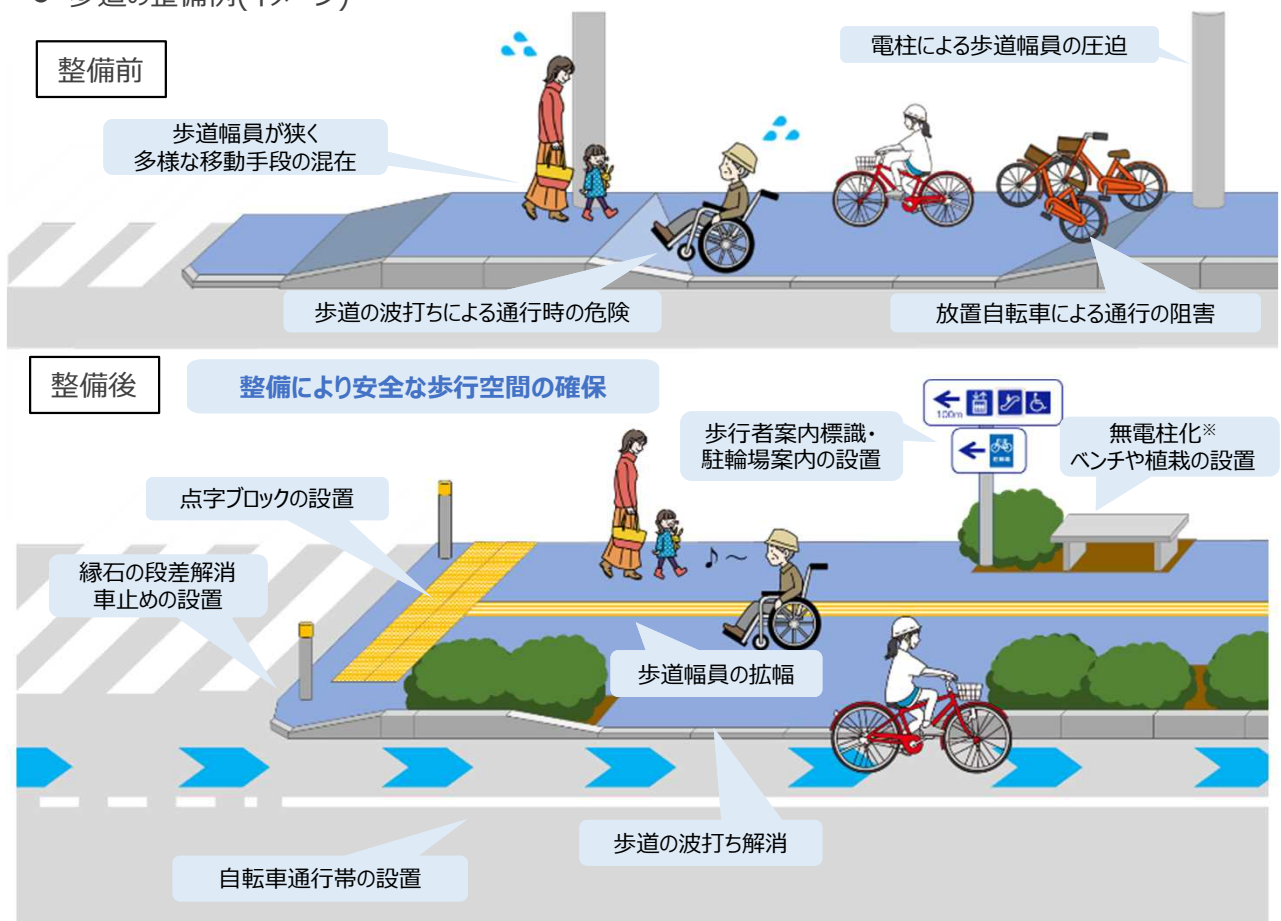


● ゾーン30プラス※の事例



塩尻市広丘高出

● 歩道の整備例(イメージ)



取組事例① 一般県道 塩田仁古田線 上田市 五加

歩道整備および踏切改良により、通学路における歩行者の安全・安心な通行を確保しました。

■ 通学路の踏切改良



● 整備前



● 整備後



取組事例② 主要地方道 安曇野インター堀金線 安曇野市 田尻

通学時において、新たに歩道を設置することにより、通行車両が児童に接近する危険な状態を解消しました。

■ 通学路の歩道整備

● 整備前



● 整備後



🍏 重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

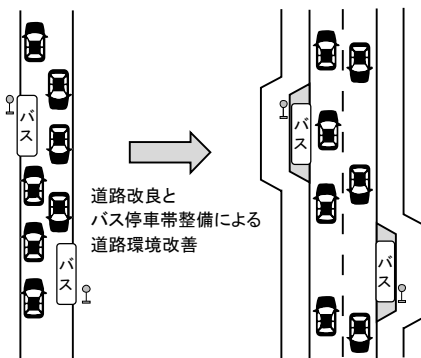
(2) 脱炭素社会実現に向けた みちづくり

自転車や公共交通機関の利用を促進するための道路環境整備などにより、自家用車に頼らず移動ができ、脱炭素社会の実現に貢献するみちづくりをめざします。

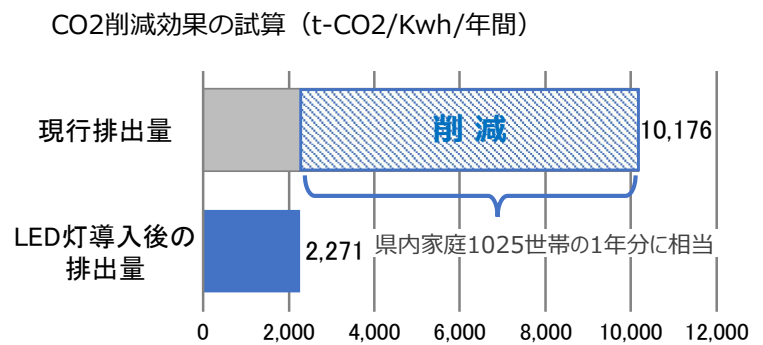
施策の展開

- ① 都市部における自転車通行空間の整備
- ② バス路線の道路環境整備
- ③ ビッグデータ※など情報技術を活用した渋滞状況の把握と対策の推進
- ④ GX※の推進（道路照明のLED化など）
- ⑤ EVや自動運転サービスに対応した道路環境整備

- 道路改良とバス停車帯整備のイメージ



- CO2削減効果（照明LED化）



- 自動運転サービスの例



塩尻MaaSプロジェクト(バス型自動運転車両)

出典：塩尻市

取組事例① 一般国道403号 須坂市 幸高～井上

上信越自動車道「須坂長野東IC」と直結している当該箇所において、4車線化整備により交通ボトルネック箇所を解消し、快適な交通を確保しました。

■ 車線拡幅による渋滞対策の実施

● 整備前



● 整備後



取組事例② 都市計画道路 中常田新町線 上田市 常田

沿道に学校、病院、大型商業施設等が存在していることから、自転車の利用促進を図り、安全・安心な通行ができるように、自転車通行空間の整備を行いました。

■ 自転車通行空間の整備

● 整備前



● 整備後



🍏 重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

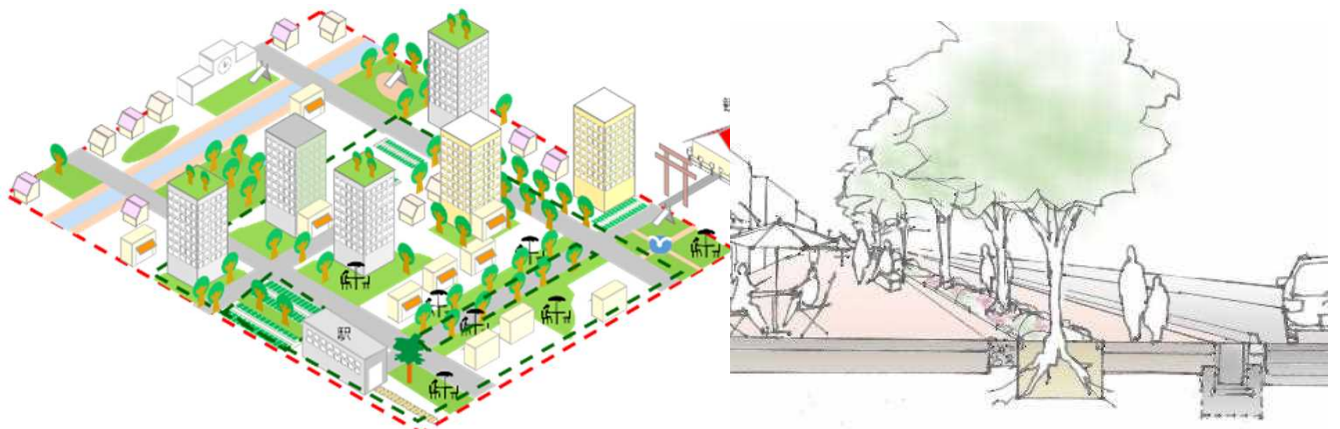
(3) 歩きたくなる みちづくり

道路空間の柔軟な活用や環境整備、良好な景観形成の推進などにより、歩きたくなるみちづくりをめざします。

施策の展開

- ① 信州まち・あい空間による快適で魅力あふれるまちの創出
- ② 道路空間の柔軟な活用によるオープン化（ほこみち制度※の活用など）
- ③ 観光客をひきつける景観の形成・保全の推進（無電柱化※など）

- グリーンインフラ※と連携したウォークブルなまちづくり※のイメージ



信州“まち・あい”空間

～まちなかが、あるきたくなる、いごちの良い空間～

～まちを愛し、まちなかで出会いの空間～

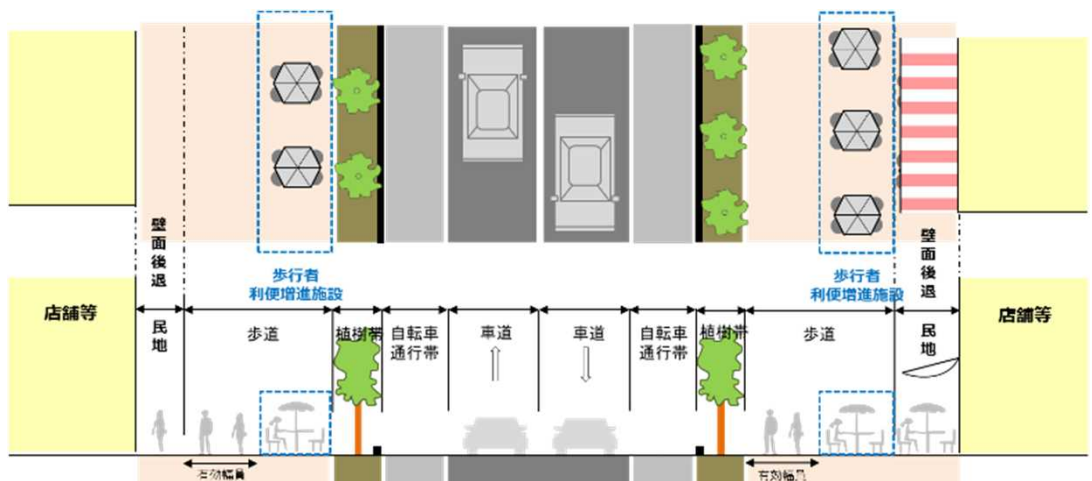


グリーンインフラ



ウォークブル

- 道路空間の柔軟な活用によるオープン化のイメージ



取組事例①

快適で居心地の良い道路空間を創出するため、道路幅員の再構築による社会実験を行い、新しい道路空間の活用可能性を探りました。

■ 道路空間の柔軟な活用によるオープン化

- 実施例 屋代駅前



- 実施例 信濃大町駅前



取組事例②

一般県道 旧軽井沢軽井沢(停)線 軽井沢町 新軽井沢

観光地の無電柱化※により、観光客をひきつける景観の形成を進めました。

■ 無電柱化※による景観に配慮した道路整備

- 整備前



- 整備後



重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

(4) 快適な暮らしを支える みちづくり

拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化など地域の実情に応じた道路整備を進めることで、快適な暮らしを支えるみちづくりをめざします。

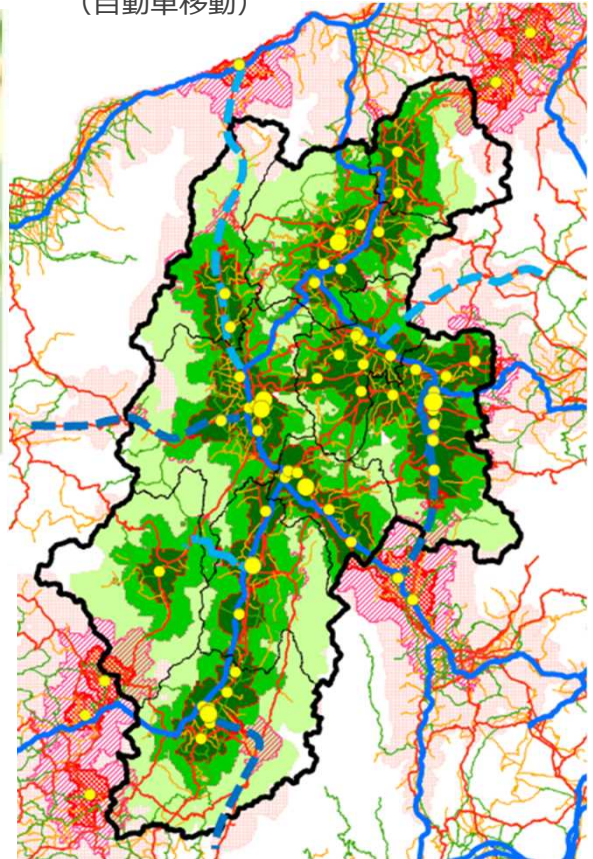
施策の展開

- ① 都市を形成する市街地道路の整備
- ② 都市部や地域の拠点などを結ぶ道路ネットワークの整備
- ③ 地域の生活を支える道路網の整備
- ④ 中山間地における1.5車線の道路整備※
- ⑤ 快適な暮らしを支える適切な維持管理

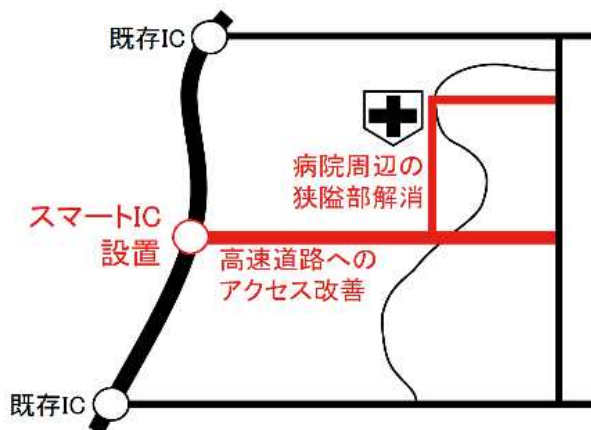
● 道路整備のイメージ



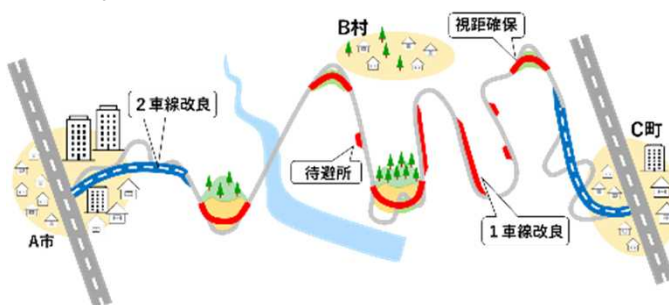
● 医療施設からの到達時間カバー圏域 (自動車移動)



● 地域の生活を支える道路網の形成 (医療施設のアクセス向上のイメージ)



● 1.5車線の道路整備※のイメージ



【凡例】

- | | |
|---------------|---------------|
| ● 第三次医療施設※ | ● 第二次医療施設※ |
| ■ 現在15分カバー圏 | ■ 現在15分カバー圏 |
| ■ 現在30分カバー圏 | ■ 現在30分カバー圏 |
| ■ 現在60分カバー圏 | ■ 現在60分カバー圏 |
| — 高速道路(現在) | — 高速道路(将来) |
| — 地域高規格道路(現在) | — 地域高規格道路(将来) |

【現在】現在道路網

【将来】将来道路網+県外医療施設も含める

高速道路等の延伸 ⇒ 沿線で30分圏域が広がる
 県境地域 ⇒ 県外医療施設と連携することでさらに広がる

取組事例① 主要地方道 飯島飯田線 飯田市 切石～北方

慢性的な渋滞が発生している区間のバイパス整備により、中心市街地へ流入する通過車両の交通転換が図られ、都市環状道路として円滑で安全な交通を確保しました。

■ 都市を形成する市街地道路の整備

● 整備前



(国) 256号の渋滞状況

● 整備後



取組事例② 主要地方道 長野真田線 長野市 松代

歴史的街並みが残る松代地区の中心市街地区間のバイパス整備により、通過車両の市街地進入が抑制され、地区内の環境改善が図られました。

■ 地域の生活を支える道路網の整備

● 整備前



● 整備後



重点分野Ⅲ 観光や産業の振興

(1) 人・モノ・サービスが行き交う みちづくり

地域間交流や観光の促進、県内産業の更なる発展のため、高速道路等の高速交通網を軸とした交通の円滑化や道路のネットワークの強化により、人・モノ・サービスが行き交うみちづくりをめざします。

施策の展開

- ① 本州中央部広域交流圏※を形成する幹線道路の整備
- ② リニア中央新幹線※の整備効果を広く県内に波及させるための関連道路の整備
- ③ 産業・観光および交通拠点へのアクセス性の向上

● 本州中央部広域交流圏※のイメージ

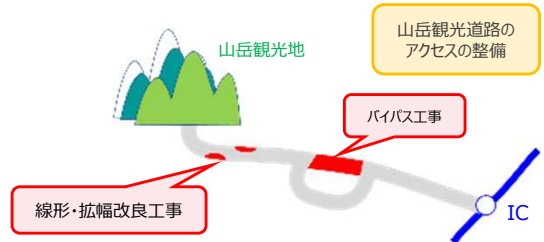


● 県土の骨格となる高規格道路※の例

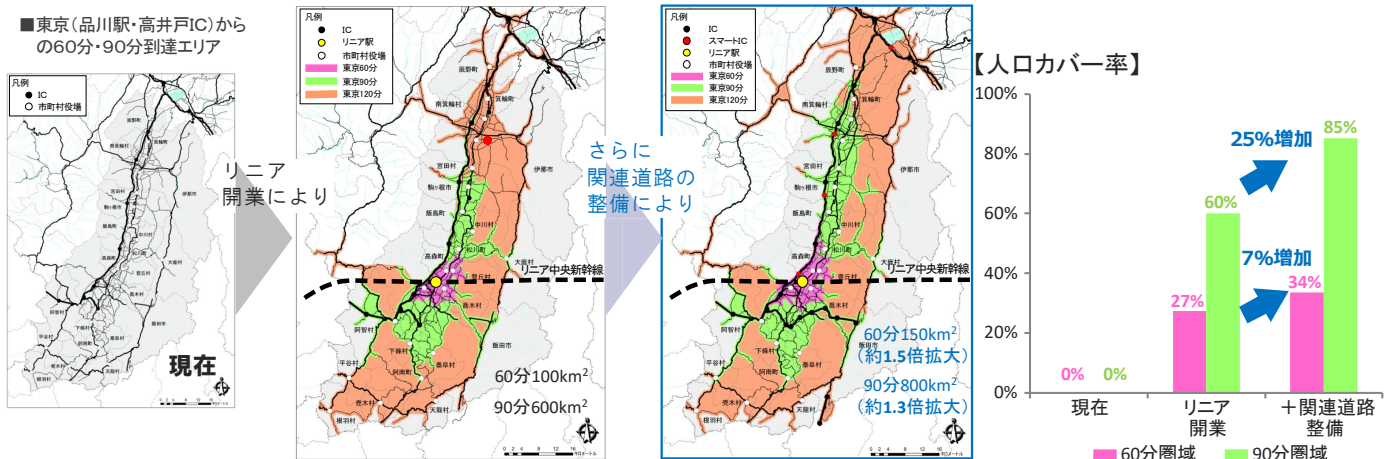


中部横断自動車道
出典：長野県「長野県新総合交通ビジョン」

● 観光地アクセス道路※のイメージ



● 東京からの伊那谷人口カバー圏

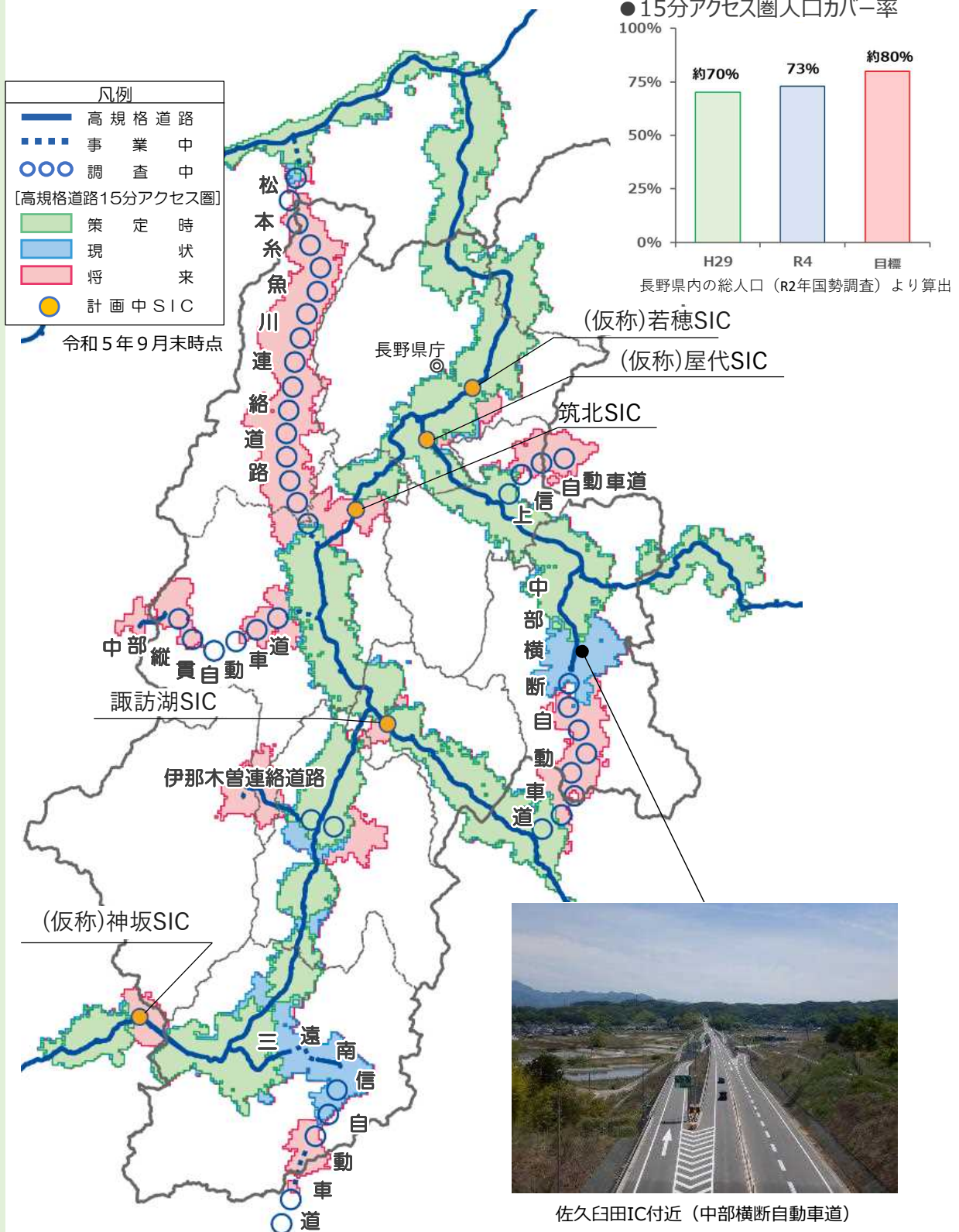


取組事例

本州中央部広域交流圏※を形成する高規格道路※の整備推進

高規格道路※の整備によるミッシングリンク※解消などにより、将来的に15分アクセス圏人口カバー率80%を目標とし、アクセス性の向上をめざします。

■ 中間評価から見る策定後の成果



旅行速度については、平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 昼間12時間平均旅行速度（上下平均）を基本とする。未整備路線については、一般道路60km/h、地域高規格道路※及び高速道路を80km/h、上信越自動車道の4車線化事業区間は、現在を70km/h、将来を80km/hとした。

重点分野Ⅲ 観光や産業の振興

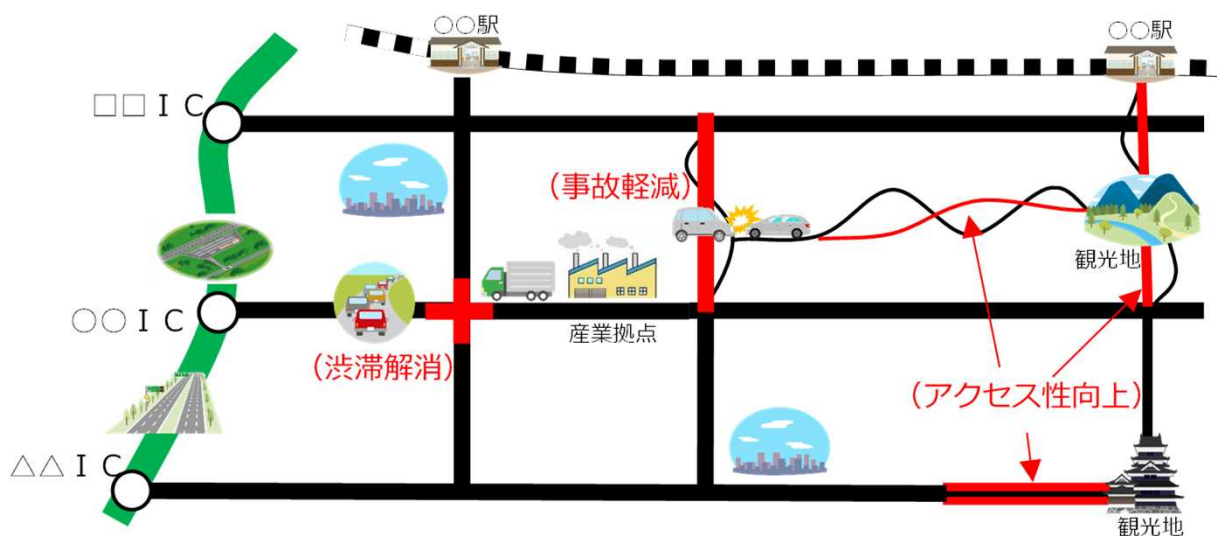
(2) ストレスなく快適に移動できる みちづくり

道の駅の施設環境や観光地周辺の案内表示の充実により、長野県に訪れる人がストレスなく移動できる快適なみちづくりをめざします。

施策の展開

- ① 産業の生産性や観光の周遊性を高める道路整備
- ② 道の駅への公衆無線LAN※設置支援やトイレの快適化
- ③ 観光地内を快適に移動できる歩行者空間の整備
- ④ 観光客が快適に過ごすことのできる環境整備(多言語表記の拡充など)

- 産業の生産性や観光の周遊性を高める道路整備の例



- 観光地内の歩道設置例



塩尻市 ワインロード

- 快適なトイレの例



道の駅 花の里いじま

- 公衆無線LAN※の設置表示例



「道の駅 SPOT (スポット)」
道の駅SPOTでは、「道の駅」周辺の交通情報や気象・災害情報など、様々な情報にアクセスが可能

- 標識の多言語表示例

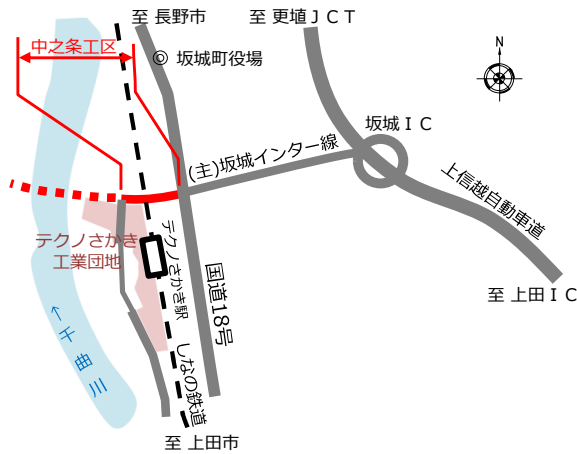


取組事例① 主要地方道 坂城インター線 坂城町 中之条

工業団地から坂城ICへのアクセス道路※を整備し、交通混雑しているテクノさかき工業団地やテクノさかき駅周辺の安全で円滑な道路交通をめざします。

■ 産業の生産性を高める道路整備

● 事業箇所図(坂城インター線)



● 整備状況



取組事例② 一般国道152号 伊那市 栗田～四日市場

観光地である「高遠のさくら」へのアクセス道路※であり、バイパス整備により、交通の円滑化が図られ観光の周遊性が向上しました。

■ 渋滞解消による観光の周遊性の向上

● 整備前



● 整備後



(3) 観光を満喫できる みちづくり

沿道の美化活動等により、長野県を訪れた人が、景観や観光を満喫できるみちづくりをめざします。

施策の展開

- ① 自転車通行空間の整備などによるサイクルツーリズムの推進
- ② インフラの観光資源としての活用(トンネル・峠カード※、信州ナビ※等の利用)
- ③ 道路美化活動の取組(日本風景街道※の活用、アダプト※団体等への支援)
- ④ 歩いて楽しめる道路利用空間の創出

- 諏訪湖周サイクリングロード



- 県道富士見台公園線 蓄光石を用いた歩道整備



- トンネル・峠カード※



- 信州ナビ※



iPhone 用
QR コード



Android 用
QR コード



- アダプト※団体等の沿道美化活動の様子



- 楽しく歩ける道路利用空間の創出の例



(国)152号 茅野市 あけぼの隧道入口花壇
信州ビーナスライン花壇「花三昧」

善光寺 花回廊 (長野市)

取組事例

Japan Alps Cycling Road 整備事業

サイクルツーリズム推進のための自転車走行空間を整備し、暮らす人も訪れる人も誰もが楽しめる観光地をめざし、「Japan Alps Cycling Road」に選定されたルートについて順次、矢羽根や案内標識の整備を進めます。

千曲川サイクリングロード

長野県一周サイクリングJapan Alps Cycling Road

⚠️ このルートは上級者向けルートです



北アルプス地域
サイクリングモデルコース



矢羽根の設置



案内看板設置



5 施策の目標

重点分野

キーワード

該当する施策

I 県土の強靱性

防災・減災
重要物流道路※
緊急輸送道路※
定期点検
長寿命化修繕計画※
新技術活用

- (1)災害に強い みちづくり
- (2)災害対応の迅速化をめざしたみちづくり
- (3)いつでも安心して移動できるみちづくり

II 持続可能で 快適な暮らし

歩行者・自転車
脱炭素・GX※
信州まち・あい空間
無電柱化※
道路ネットワーク
維持管理

- (1)誰もが安全に移動できるみちづくり
- (2)脱炭素社会の実現に向けたみちづくり
- (3)歩きたくなる みちづくり
- (4)快適な暮らしを支えるみちづくり

III 観光や産業の振興

本州中央部広域交流圏※
リニア中央新幹線
産業の生産性
観光の周遊性
道の駅
サイクルツーリズム

- (1)人・モノ・サービスが行き交うみちづくり
- (2)ストレスなく快適に移動できるみちづくり
- (3)観光を満喫できる みちづくり

目 標

施策	整備効果	策定時現状 【2017年度末】	進捗状況 【2022年度末】	目標 【2027年度末】	将来目標
I-(1)	重要物流道路※等における対策必要箇所の整備	—	0箇所	9箇所 (50%)	18箇所 (100%) 【2035年度末】
	緊急輸送道路※における危険箇所の整備	—	0箇所	57箇所 (62%)	92箇所 (100%) 【2035年度末】
I-(2)	迂回路における大型車の通行に支障をきたす区間の整備	—	0箇所	11箇所 (55%)	16箇所 (80%) 【2035年度末】
I-(3)	緊急又は早期に対策が必要な橋梁・トンネルにおける修繕等の措置完了率	—	橋梁 23% トンネル 75% 【2021年度末】	100%	—

施策	整備効果	策定時現状 【2017年度末】	進捗状況 【2022年度末】	目標 【2027年度末】	将来目標
II-(1)	H24点検 通学路安全対策箇所整備率	83%	100% (達成)	100%	—
	R3通学路合同点検要対策箇所の整備	—	477箇所	647箇所	—
II-(2)	照明LED化によるCO2排出量削減 (トンネル照明除く)	10,176 t-CO2/Kwh	2,271 t-CO2/Kwh (達成)	2,271 t-CO2/Kwh	—
	道の駅(県管理)へのEV充電設備 設置率	65% (13/20箇所)	71% (15/21箇所)	100%をめざした 設置支援実施	—
II-(3)	「信州まち・あい空間」を創出する地区数	—	0地区	10地区	—
II-(4)	主要医療施設 15分人口カバー率	約85%	87% (達成)	—	87%
	主要医療施設 30分人口カバー率	約97%	98% (達成)	—	98%

施策	整備効果	策定時現状 【2017年度末】	進捗状況 【2022年度末】	目標 【2027年度末】	将来目標
III-(1)	高規格道路※ 15分アクセス圏人口カバー率	約70%	73%	—	約80%
	東京90分圏域 伊那谷人口カバー率	0%	0%	—	リニア開業 約60% + 関連道路 約85%
	名古屋60分圏域 伊那谷人口カバー率	0%	0%	—	リニア開業 約46% + 関連道路 約59%
III-(2)	道の駅(県管理)への公衆無線LAN※の設置率	40% (8/20箇所)	67% (14/21箇所)	100%をめざした 設置支援実施	—
	道の駅(県管理)のトイレ洋式化率	53% (洋式トイレ数105/ 総トイレ数197)	91% (洋式トイレ数189/ 総トイレ数208)	概ね100% + 快適性向上	—
III-(3)	Japan Alps Cycling Road整備延長	—	約180km	—	約878km

6 重点施策

3つの重点分野において掲げた施策のうち、長野県の道路状況や、社会情勢を踏まえ、今後特に力を入れて取り組むべき施策として、5つの重点施策を提示します。

❖ 重点施策 1

防災拠点へアクセスする重要物流道路※等の機能強化

めざす姿

重要物流道路※等の整備により、平常時・災害時を問わない安定的な人流・物流を確保します。

整備方針

- 平常時・災害時を問わず安定的な通行を確保するため、事故危険箇所や渋滞発生箇所について優先して整備します。

対応する施策

重点分野 I 施策（1）災害に強い みちづくり ①重要物流道路※や代替・補完路※の整備

指標

過去5年間に事故履歴のある箇所、著しい渋滞が確認された箇所（計18箇所）の対策を2035年までにすべて完了させます。

	事業箇所数	2027年度末まで (進捗率)	2035年度末まで (進捗率)
重要物流道路※等における対策必要箇所の整備	18箇所	9箇所 (50%)	18箇所 (100%)

主な整備中の箇所

路線名	箇所名	
(国)141号	佐久市～小諸市	跡部～平原
(国)153号	伊那市～箕輪町	伊那バイパス
(国)151号	下條村	粒良脇トンネル
(主)松本環状高家線	松本市	神林～和田
(国)403号	長野市	綿内



(国)141号 佐久市～小諸市 跡部～平原 (浅蓼大橋)



(国)153号 伊那市～箕輪町 伊那バイパス

◆長野県の重要物流道路※

< 連絡する拠点 >

	重物指定区間	
高規格道路※	候補路線 ○○	計画区間 □□
	事業区間 ■■	供用区間 ■■■■
高規格道路※以外	事業区間 □□	供用区間 ■■■■
代替・補完路※	供用中 ■■■■	
(未指定区間)	供用中 ■■■■	

重要物流道路※	都市（地方中核都市等）	●
	空港・港湾・鉄道貨物駅 (拠点空港、重要港湾、コンテナ取扱駅等)	○
	物流拠点（トラックターミナル、工業団地等）	○
代替・補完路※	都市（市区町村の役場）	●
	防災拠点（備蓄基地、総合病院等）	○

R4.4.1時点



NO	路線名	箇所名
①	(国)141号	佐久市～小諸市 跡部～平原
②	(国)153号	伊那市～箕輪町 伊那バイパス
③	(国)151号	下條村 粒良脇トンネル
④	(国)151号	阿南町 新野拡幅
⑤	(国)148号	小谷村 雨中
⑥	(国)406号	須坂市 南横町
⑦	(国)153号	飯田市 飯田北改良
⑧	(国)148号	白馬村 白馬北
⑨	(国)141号	南牧村 海尻
⑩	(国)151号	飯田市 八幡町
⑪	(国)418号	売木村 岩倉橋～軒川
⑫	(国)148号	小谷村 塩水
⑬	(国)403号	長野市 綿内
⑭	(主)松本環状高家線	松本市 神林～和田
⑮	伊那木曾連絡道路	木曾町 姥神峠道路(延伸)
⑯	(国)403号	安曇野市 名九鬼～木戸
⑰	(国)403号	麻績村 梶浦～本町
⑱	(国)292号	中野市～飯山市 古牧橋

重点施策 2

緊急輸送道路※の危険箇所の解消による平常時・緊急時の信頼性向上

めざす姿

緊急輸送道路※の整備により、災害時等における緊急車両や道路利用者の通行を確保します。

整備方針

緊急輸送道路※上の緊急車両の通行に支障をきたす落石等危険箇所、事故危険箇所について優先して整備します。

対応する施策

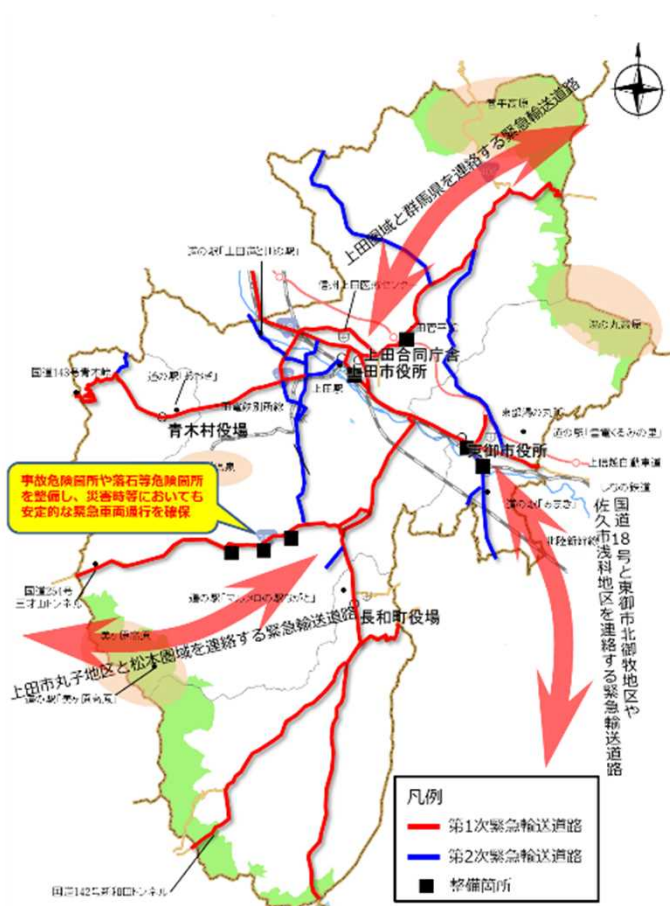
- 重点分野 I 施策(1) 災害に強い みちづくり ②緊急輸送道路※の強靱化
 重点分野 I 施策(1) 災害に強い みちづくり ④落石や土砂崩落への対策

指標

緊急点検による落石危険箇所や、過去5年間に事故又は落石・崩落等の被災履歴があり、緊急輸送道路※のネットワーク構築に資する92箇所の対策を2035年度末までにすべて完了させます。

	事業箇所数	2027年度末まで (進捗率)	2035年度末まで (進捗率)
緊急輸送道路※における危険箇所の整備	92箇所	57箇所 (62%)	92箇所 (100%)

主な整備箇所（上田圏域事例）



(国)144号 上田市 湯ノ平橋



(国)254号 上田市 東内～西内

◆ 整備箇所一覧表

地区	No.	路線名	箇所名	
佐久	1	(国) 141号	南牧村	海尻
	2	(都) 相生大手線	佐久市	岩村田
上田	3	(国) 254号	上田市	東内～西内
	4	(国) 144号	上田市	上野バイパス
	5	(国) 143号	松本市～青木村	青木峠バイパス
	6	(国) 254号	上田市	虚空蔵
	7	(一) 東部望月線	東御市	田中
	8	(一) 東部望月線	東御市	加沢
	9	(国) 141号	上田市	常田
	10	(都) 北天神町古吉町線	上田市	御所
	諏訪	11	(主) 岡谷茅野線	諏訪市
12		(一) 払沢茅野線	原村～茅野市	阿久～坂室
13		(主) 岡谷茅野線	岡谷市	本町～中央町
14		(都) 役場通り線	富士見町	富里
15		(都) 岡谷川岸線	岡谷市	川岸
上伊那	16	(国) 153号	伊那市～箕輪町	伊那バイパス
	17	(国) 152号	伊那市	荒町
	18	(都) 竜東線	伊那市	中央北
	19	(都) 環状北線	伊那市	山寺～中央
	20	(都) 竜東線	伊那市	北町
南信州	21	(国) 153号	飯田市	飯田北改良
	22	(国) 418号	飯田市	大町～下市場
	23	(国) 418号	売木村	岩倉橋～軒川
	24	(国) 151号	飯田市	八幡町
	25	(主) 松川大鹿線	大鹿村	落合
	26	(主) 飯田富山佐久間線	飯田市	知久平～南原
	27	(主) 天竜公園阿智線	泰阜村	唐笠
	28	(主) 飯田富山佐久間線	飯田市	龍江
	29	(主) 飯田富山佐久間線	天龍村	松崎
木曽	30	伊那木曽連絡道路	木曽町	姥神峠道路(延伸)
	31	(国) 361号	木曽町	長峰～九蔵
	32	(主) 開田三岳福島線	木曽町	小島トンネル
	33	(主) 奈川木祖線	木祖村	境峠下
松本	34	(国) 403号	安曇野市	名九鬼～木戸
	35	(国) 143号	松本市～青木村	青木峠バイパス【再掲】
	36	(国) 158号	松本市	狸平
	37	(国) 403号	麻績村	梶浦～本町
北アルプス	38	(国) 148号	小谷村	雨中
	39	(国) 148号	小谷村	塩水
	40	(主) 長野大町線	大町市	新行
	41	(国) 148号	白馬村	白馬駅前
長野	42	(国) 406号	須坂市	南横町
	43	(国) 406号	長野市	戸隠祖山
	44	(国) 403号	長野市	岩野
	45	(国) 403号	長野市	関崎橋東
	46	(国) 403号	長野市	綿内
	47	(主) 信濃信州新線	長野市	上楠川～菅谷地
	48	(主) 坂城インター線	坂城町	中之条
	49	(主) 長野菅平線	長野市	落合橋(大豆島～牛島)
	50	(都) 若宮線	千曲市	若宮
	51	(都) 県庁篠ノ井線	長野市	北原～篠ノ井駅入口
	52	(都) 県庁篠ノ井線	長野市	川中島～篠ノ井
	53	(都) 岩野二ツ柳線	長野市	御幣川
北信	54	(都) 立ヶ花東山線	中野市	吉田

その他、落石履歴があるなどの危険箇所として、小規模防災事業が38箇所

❖ 重点施策 3

重要物流道路※のダブルネットワーク※を補完する 広域的な迂回機能の強化

めざす姿

近年、激甚化・頻発化する災害等から、緊急車両の通行確保や物流を含む道路利用者への影響を最小限にするため、道路の迂回機能を強化します。

整備方針

- (1) 重要物流道路※に対して設定した迂回路において、大型車の通行に支障をきたす区間を整備します。
- (2) 近年の災害時に設定した迂回路において、すれ違いが困難で通行の支障となった箇所を整備します。

対象路線

重要物流道路※		迂回路線	対象範囲	対策必要 路線の有無
高規格道路※	直轄国道等			
長野自動車道	(国)19号 (長野地域)	(国)403号 他	安曇野市 ~ 長野市	○
-	(国)19号 (木曽地域)	木曽川右岸道路、 伊那木曽連絡道路	南木曽町 (岐阜県境) ~ 塩尻市	○
中央自動車道	(国)153号	(主)下諏訪辰野線、(主)飯島飯田線 他	塩尻市 ~ 根羽村 (愛知県境)	○
中央自動車道	(国)20号	(主)岡谷茅野線、 (一)茅野北杜韮崎線 他	茅野市 (山梨県境) ~ 岡谷市	-
上信越自動車道	(国)18号	(一)長野上田線、(一)小諸上田線 他	軽井沢町 (群馬県境) ~ 長野市	-
上信越自動車道	(国)117号	(国)292号、(一)中野豊野線 他	長野市 ~ 飯山市	○

近年の災害時に 設定した迂回路

迂回路線	対策必要 路線の有無
今後の災害により変動する可能性があります (主)長野信州新線、(主)信濃信州新線、(主)長野大町線 他	○

対応する施策

- 重点分野 I 施策(2) 災害対応の迅速化をめざした みちづくり
①災害時における道路の迂回機能の強化

指標

現地を確認し、特に緊急性の高い16箇所の対策を2035年度末までに完了させます。

	事業箇所数	2027年度末まで (進捗率)	2035年度末まで (進捗率)
迂回路における大型車の通行に支障をきたす区間の整備	20箇所	11箇所 (55%)	16箇所 (80%)

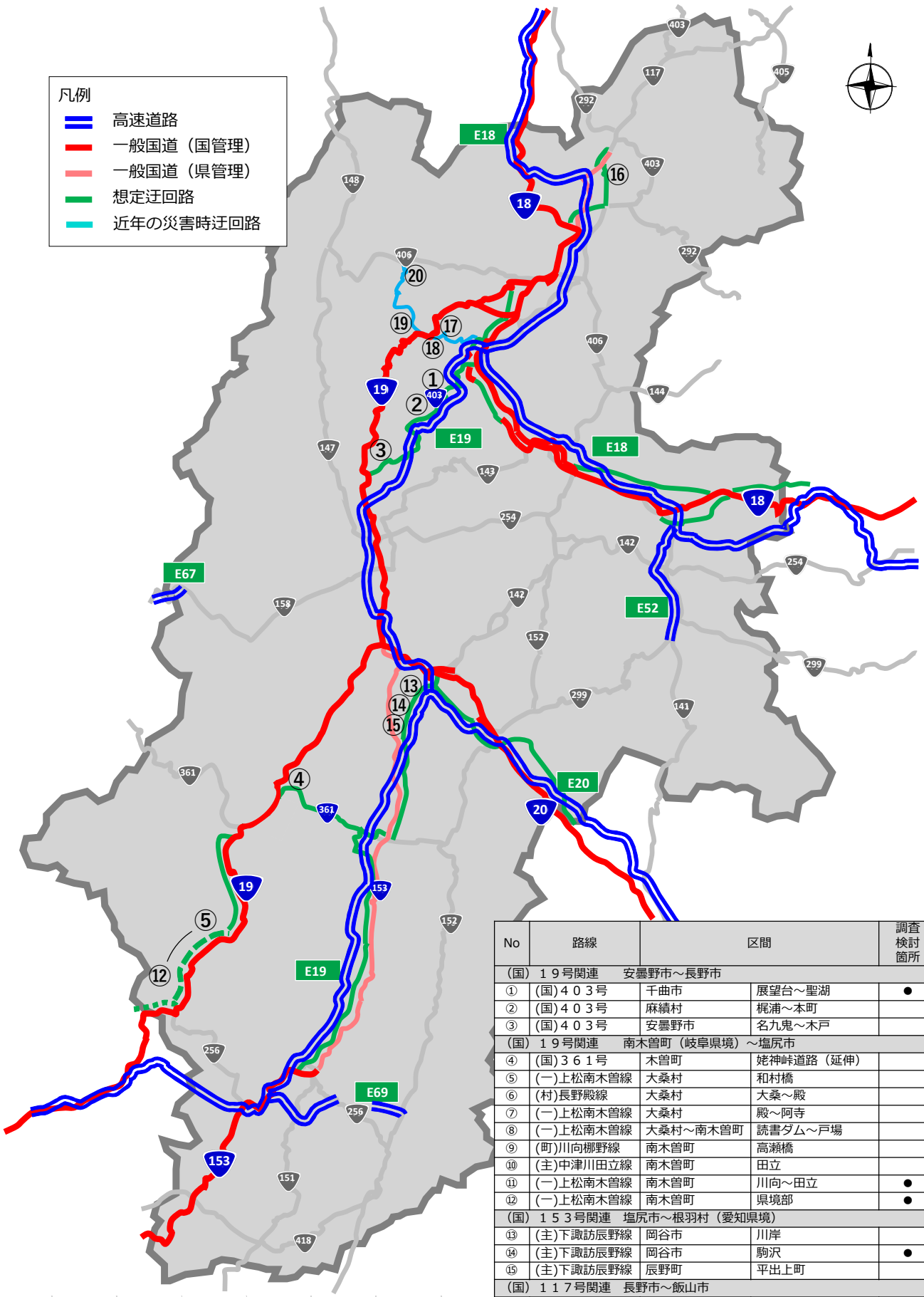
主な整備中の箇所

路線名	箇所名	
国道19号関連(木曽地域)		
(一)上松南木曽線	大桑村～南木曽町	読書ダム～戸場
(一)上松南木曽線	大桑村	殿～阿寺

事業箇所図

凡例

- 高速道路
- 一般国道（国管理）
- 一般国道（県管理）
- 想定迂回路
- 近年の災害時迂回路



No	路線	区間	調査 検討 箇所
(国) 19号関連 安曇野市～長野市			
①	(国)403号	千曲市 展望台～聖湖	●
②	(国)403号	麻績村 梶浦～本町	
③	(国)403号	安曇野市 名九鬼～木戸	
(国) 19号関連 南木曾町(岐阜県境)～塩尻市			
④	(国)361号	木曾町 姥神峠道路(延伸)	
⑤	(一)上松南木曾線	大桑村 和村橋	
⑥	(村)長野殿線	大桑村 大桑～殿	
⑦	(一)上松南木曾線	大桑村 殿～阿寺	
⑧	(一)上松南木曾線	大桑村～南木曾町 読書ダム～戸場	
⑨	(町)川向柳野線	南木曾町 高瀬橋	
⑩	(主)中津川田立線	南木曾町 田立	
⑪	(一)上松南木曾線	南木曾町 川向～田立	●
⑫	(一)上松南木曾線	南木曾町 県境部	●
(国) 153号関連 塩尻市～根羽村(愛知県境)			
⑬	(主)下諏訪辰野線	岡谷市 川岸	
⑭	(主)下諏訪辰野線	岡谷市 駒沢	●
⑮	(主)下諏訪辰野線	辰野町 平出上町	
(国) 117号関連 長野市～飯山市			
⑯	(国)292号	中野市～飯山市 古牧橋	
近年の災害時に設定した迂回路			
⑰	(主)長野信州新線	長野市 田野口	
⑱	(主)長野信州新線	長野市 今泉	
⑲	(主)信濃信州新線	長野市 本村～鬼無里	
⑳	(主)信濃信州新線	長野市 中区	

❖ 重点施策 4

本州中央部広域交流圏※を形成する幹線道路の整備

めざす姿

高速交通網等やアクセス道路が整備され、都市と地方の交流や観光の促進、県内産業の更なる発展をめざします。

整備方針

- (1) 高速交通網の整備効果を最大限に活かして県内外の交流拡大を実現するため、高規格道路※等のミッシングリンク※解消を推進します。
- (2) リニア整備効果など都市と地方の交流の促進を広く県内に波及させるため、交通拠点へのアクセス道路※を整備します。

対応する施策

重点分野Ⅲ 施策(1) 人・モノ・サービスが行き交う みちづくり

①本州中央部広域交流圏※を形成する幹線道路の整備

指標

高規格道路※の15分アクセス圏カバー率約80%を達成します。

	中間評価時点 (2022年度末)	将来目標 (進捗率)
高規格道路※ 15分アクセス圏人口カバー率	73%	約80%

主な整備中の箇所

路線名	箇所名	
高規格道路※等		
伊那木曾連絡道路(姥神峠道路(延伸))		
松本糸魚川連絡道路(安曇野道路)		
(国)143号	松本市～青木村	青木峠バイパス
三遠南信自動車道		現道活用区間 (小嵐バイパス)
新設インターチェンジアクセス道路※		
(主)諏訪辰野線	岡谷市～諏訪市	小坂～有賀(諏訪湖SIC)



伊那木曾連絡道路(姥神峠道路(延伸))



(主)諏訪辰野線 岡谷市～諏訪市 小坂～有賀
(平山トンネル施工状況)

◆高規格道路※の整備状況



R5年9月末時点

❖ 重点施策 5

リニアの整備効果を県内に波及させるための関連道路の整備

めざす姿

県では、リニア中央新幹線※の整備効果を広く県内に波及させるため、平成26年3月に「長野県リニア活用基本構想」を策定しました。

この構想の実現に向け、平成27年度以降新たに「リニア関連道路整備」として次の取組を実施し、リニア開業時までには効果発現をめざします。

整備方針

(1) 長野県駅の周辺整備

広域交通・地域振興の拠点として、利便性と快適性を兼ね備えた駅機能を確認するとともに、駅周辺の交通渋滞を緩和します。

(2) 高速道路とリニアを一体化する道路整備

リニアによる大都市圏との時間短縮効果をより広範囲に拡大させるため、高速道路と長野県駅を直結させるとともに、スマートICを設置します。

あわせて高速道路の通行止めにも対応できるよう、並行する国道153号も整備します。

(3) JR東海のトンネル発生土運搬路確保に合わせた道路整備

JR東海によるトンネル工事発生土の運搬路の安全確保に合わせ、道路を効率的に整備します。

(4) リニア3駅活用交流圏の実現に向けた道路整備

山梨県駅を活用した交流を拡大させるため、スマートICを設置し周辺道路を整備します。

また、岐阜県駅へのアクセス道路※となる国道19号の信頼性を高めるため、並行する木曽川右岸道路を整備します。

対応する施策

重点分野Ⅲ 施策(1) 人・モノ・サービスが行き交う みちづくり

②リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させるための関連道路の整備

指標

リニア開業後、東京90分圏域約85%、名古屋60分圏域約59%を達成します。

	中間評価時点 (2022年度末)	将来目標 (進捗率)
東京90分圏域 伊那谷人口カバー率	0%	リニア開業 約60% + 関連道路 約85%
名古屋60分圏域 伊那谷人口カバー率	0%	リニア開業 約46% + 関連道路 約59%

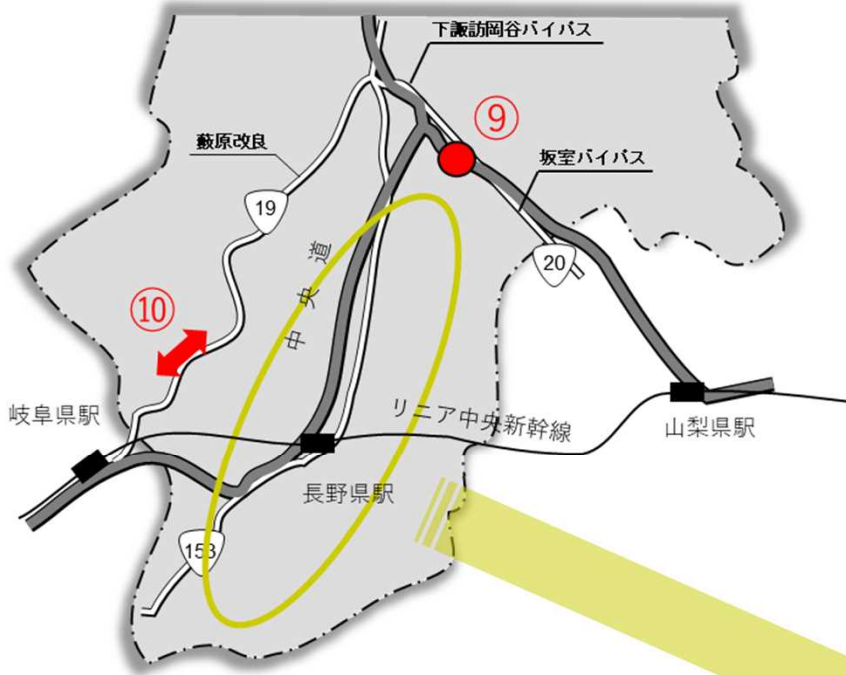


(国)153号 飯田市 飯田北改良

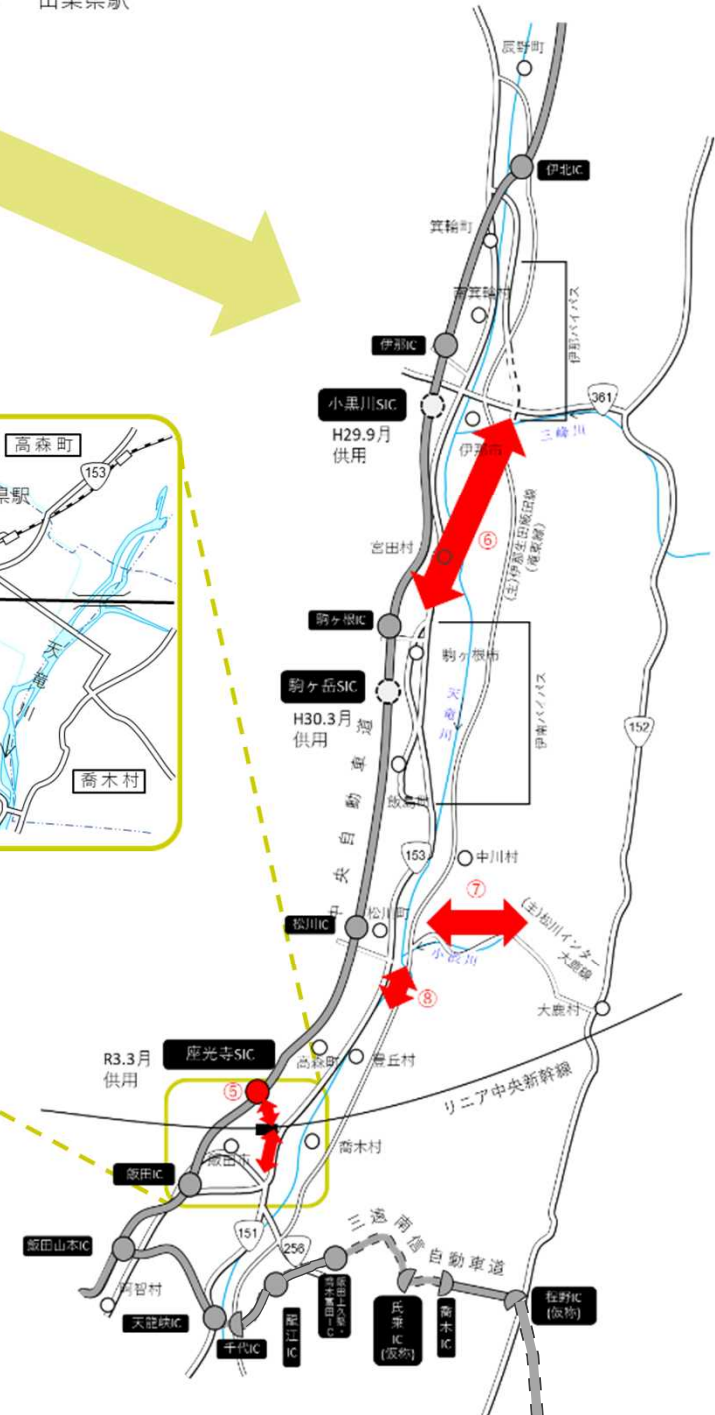


(主)飯島飯田線・(一)上飯田線
飯田市 座光寺上郷道路

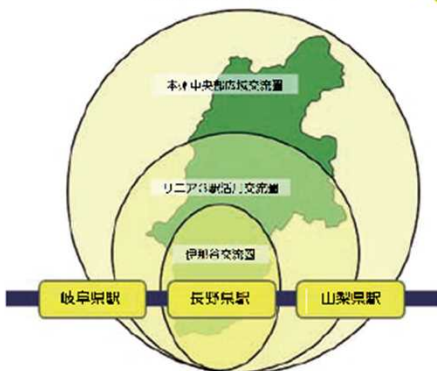
◆ 事業箇所図



区分	番号	箇所
(1)	①	交通広場、駐車場等
	②	(国)153号 飯田北改良
	③	(都)東新町座光寺線 飯田市上郷 (一)市場桜町線
(2)	④	(主)飯島飯田線・(一)上飯田線 座光寺上郷道路
	⑤	座光寺SIC
	⑥	(国)153号 伊駒アルプスロード
(3)	⑦	(主)松川インター大鹿線 渡場～滝沢
	⑧	(主)伊那生田飯田線 松川町 宮ヶ瀬線
(4)	⑨	諏訪湖SIC他周辺道路整備
	⑩	木曾川右岸道路(読書ダム～戸場ほか)



3つの広域交流圏のイメージ



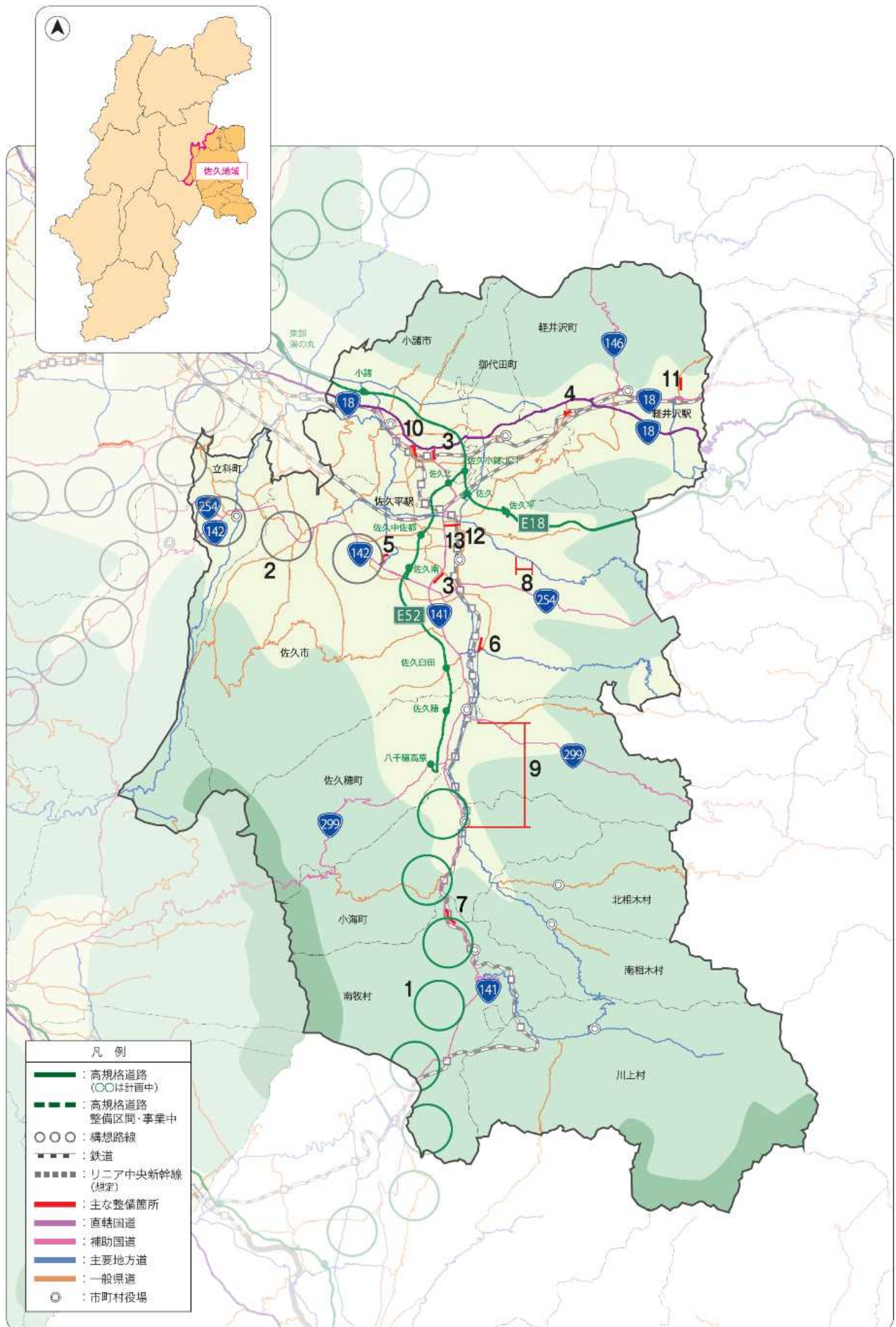
7 主な事業箇所

◆公共事業の主な整備箇所(2023～2027)

■佐久地域管内

NO	路線名	箇所名		現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ		
					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
高規格道路※														
1	中部横断自動車道			整備促進 (国事業)										
構想路線														
2	松本佐久連絡道路			調査	●							●	●	●
道路改築事業														
3	(国)141号	佐久市 ～小諸市	跡部～平原	完成供用	●							●	●	●
4	(一)信濃追分(停)線・(一) 借宿小諸線	軽井沢町	追分	完成供用				●	●			●	●	●
5	(主)佐久小諸線	佐久市	伴野～鳴瀬	部分供用				●				●		●
6	(一)三分中込線	佐久市	三分～田口	部分供用				●				●	●	●
7	(国)141号	南牧村	海尻	整備推進	●			●				●		●
8	(主)下仁田浅科線	佐久市	志賀バイパス	事業着手				●				●		●
9	(主)川上佐久線	小海町 ～佐久穂町	東馬流 ～羽黒山	調査	●							●	●	
交通安全事業														
10	(一)借宿小諸線	小諸市	四ツ谷	部分供用				●						
電線共同溝事業														
11	(一)旧軽井沢軽井沢(停)線	軽井沢町	軽井沢	整備推進	●							●		
街路事業														
12	(都)相生大手線	佐久市	岩村田	整備推進	●			●	●	●	●	●		
13	(都)相生大手線	佐久市	岩村田 (2工区)	調査	●			●	●	●	●	●		

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。県事業を対象に主な整備箇所と本ビジョンの施策との関連性を整理しました。

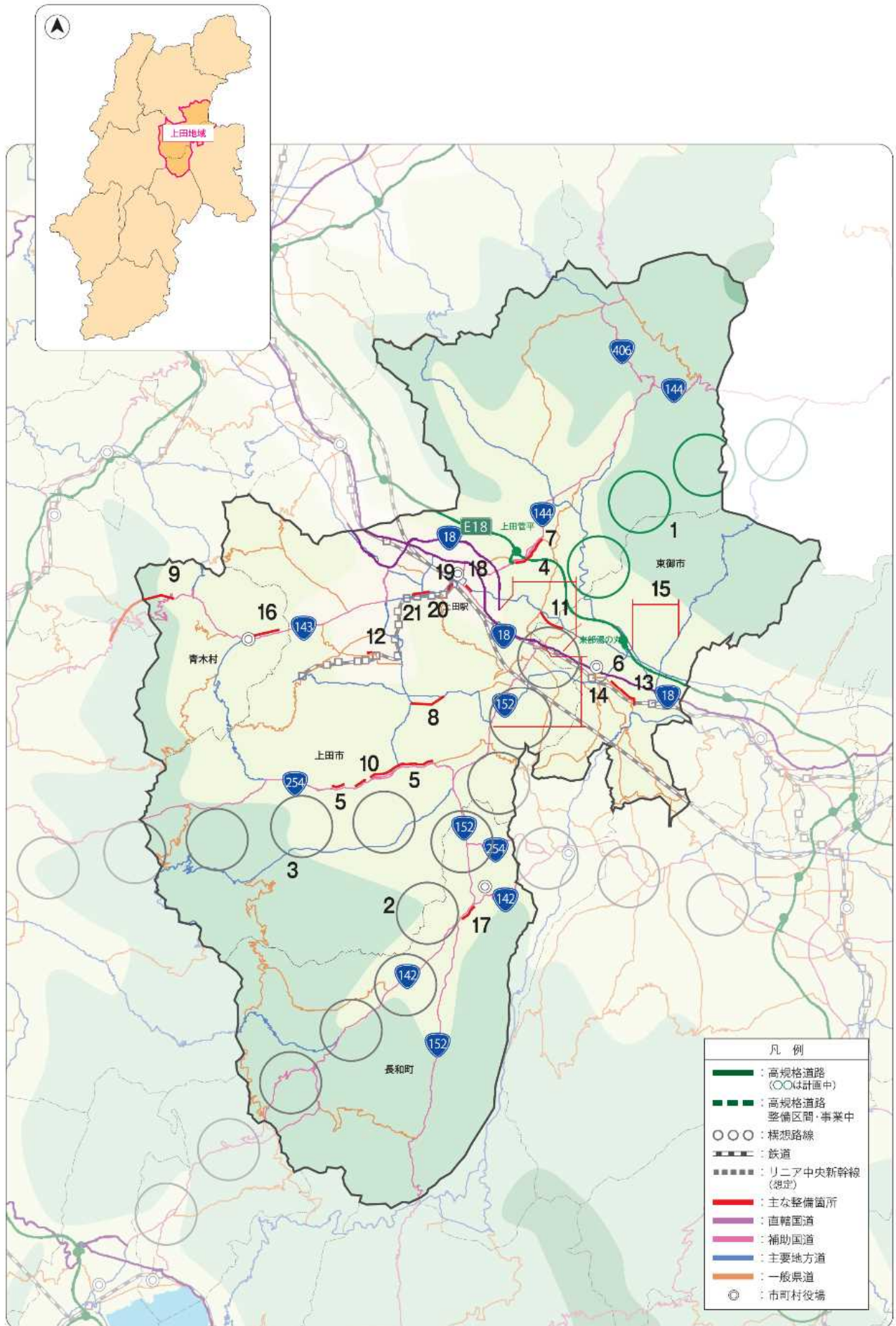


◆公共事業の主な整備箇所(2023～2027)

■上田地域管内

NO	路線名	箇所名		現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ		
					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
高規格道路※														
1	上信自動車道			調査	●							●	●	●
構想路線														
2	上田諏訪連絡道路			調査	●							●	●	●
3	松本佐久連絡道路			調査	●							●	●	●
道路改築事業														
4	(国)18号	(直轄事業)		整備促進 (国事業)										
5	(国)254号	上田市	東内～西内	完成供用	●			●	●			●		●
6	(一)東部望月線	東御市	田中	完成供用	●			●				●	●	●
7	(国)144号	上田市	上野バイパス	部分供用	●			●	●			●	●	●
8	(主)別所丸子線	上田市	鈴子バイパス	整備推進				●	●			●		●
9	(国)143号	松本市 ～青木村	青木峠バイパス	整備推進	●							●		●
10	(国)254号	上田市	虚空蔵	事業着手	●			●	●			●		●
11	(主)小諸上田線	上田市	町吉田～中吉田	事業着手	●			●				●	●	●
12	(一)塩田仁古田線	上田市	中塩田	事業着手				●				●		
13	(一)東部望月線	東御市	加沢	事業着手	●			●				●	●	●
14	(国)152号	東御市 ～上田市	丸子バイパス	調査	●			●	●			●	●	●
15	(主)東御孺恋線	東御市	新張	調査								●	●	●
交通安全事業														
16	(国)143号	青木村	村松～当郷	部分供用				●						
17	(国)142号	長和町	四泊	部分供用				●						
電線共同溝事業														
18	(国)141号	上田市	常田	整備推進	●							●		
19	(主)長野上田線	上田市	天神	整備推進	●							●		
街路事業														
20	(都)北天神町古吉町線	上田市	御所	完成供用	●			●	●	●	●			●
21	(都)北天神町古吉町線	上田市	川辺町	事業着手	●			●	●	●	●			●

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。県事業を対象に主な整備箇所と本ビジョンの施策との関連性を整理しました。

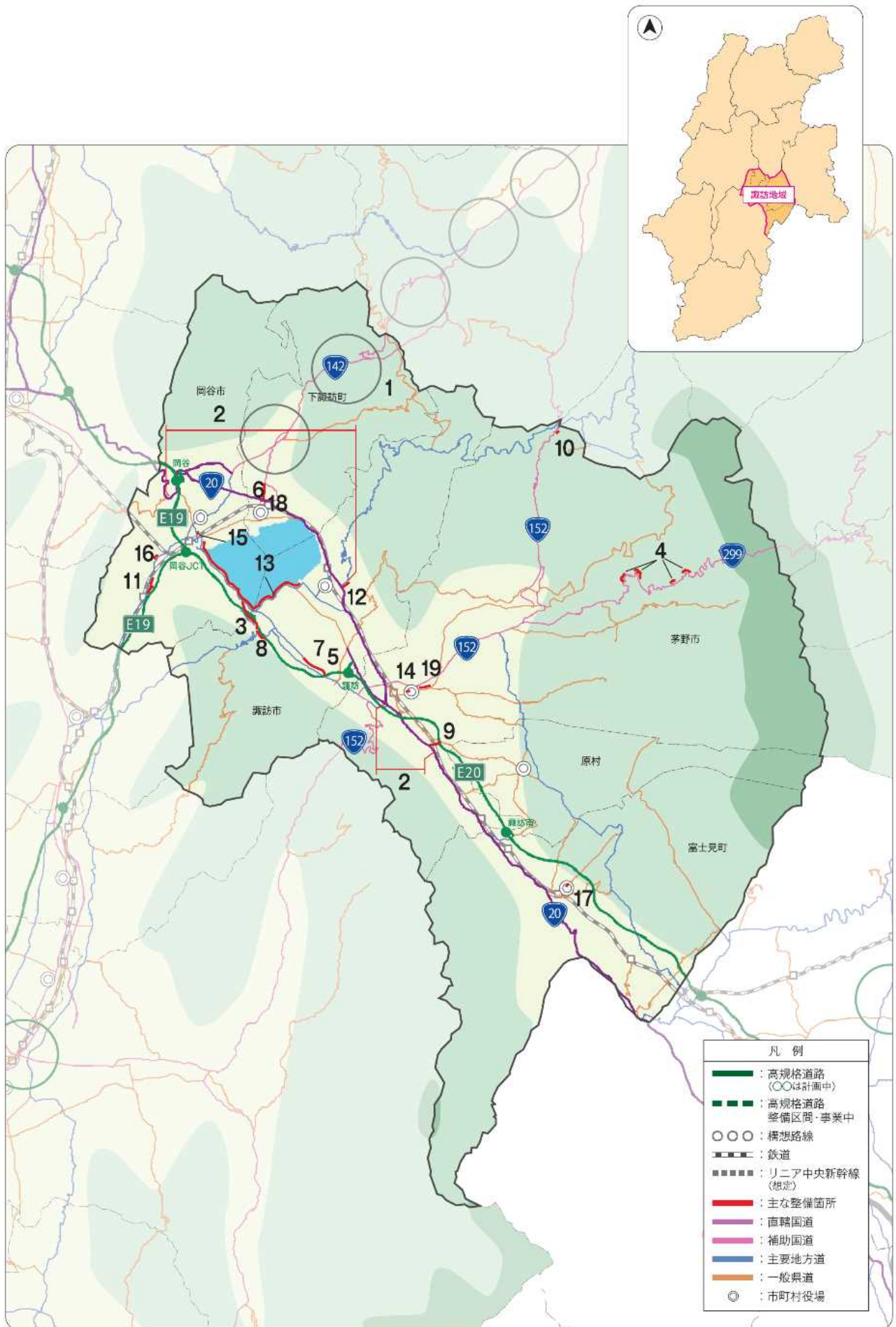


◆公共事業の主な整備箇所(2023～2027)

■諏訪地域管内

NO	路線名	箇所名		現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ			
					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	
構想路線															
1	上田諏訪連絡道路			調査	●							●	●	●	
道路改築事業															
2	(国)20号		(直轄事業)	整備促進 (国事業)											
3	(主)諏訪辰野線	岡谷市 ～諏訪市	小坂～有賀	完成供用				●			●	●	●		
4	(国)299号	茅野市	糸萱～蓼科	部分供用	●				●		●		●		
5	(主)岡谷茅野線	諏訪市	湖南	整備推進	●			●	●		●	●	●		
6	(一)岡谷下諏訪線	下諏訪町	東山田	整備推進				●			●	●	●		
7	(主)岡谷茅野線	諏訪市	大熊	整備推進	●			●	●		●	●	●		
8	(主)諏訪辰野線	諏訪市	有賀	整備推進				●			●	●	●		
9	(一)弘沢茅野線	原村 ～茅野市	阿久～坂室	事業着手	●						●	●	●		
10	(国)152号	茅野市	白樺湖	調査	●						●		●		
11	(主)下諏訪辰野線	岡谷市	駒沢	調査	●			●			●	●			
12	(主)諏訪白樺湖小諸線	諏訪市	元町～立石	調査	●						●	●			
交通安全事業															
13	(主)岡谷茅野線ほか	岡谷市 ～諏訪市	諏訪湖周サイクリ ングロード	完成供用					●	●				●	●
電線共同溝事業															
14	(一)茅野(停)八子ヶ峰公園線	茅野市	仲町～本町	整備推進	●					●					
15	(主)岡谷茅野線	岡谷市	本町～中央町	事業着手	●										
街路事業															
16	(都)岡谷川岸線	岡谷市	川岸	整備推進	●				●	●	●	●			
17	(都)役場通り線	富士見町	富里	整備推進	●				●			●			
18	(都)赤砂東山田線	下諏訪町	東山田	整備推進					●		●	●		●	
19	(都)観音通線	茅野市	本町	事業着手					●	●	●	●		●	

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。県事業を対象に主な整備箇所と本ビジョンの施策との関連性を整理しました。



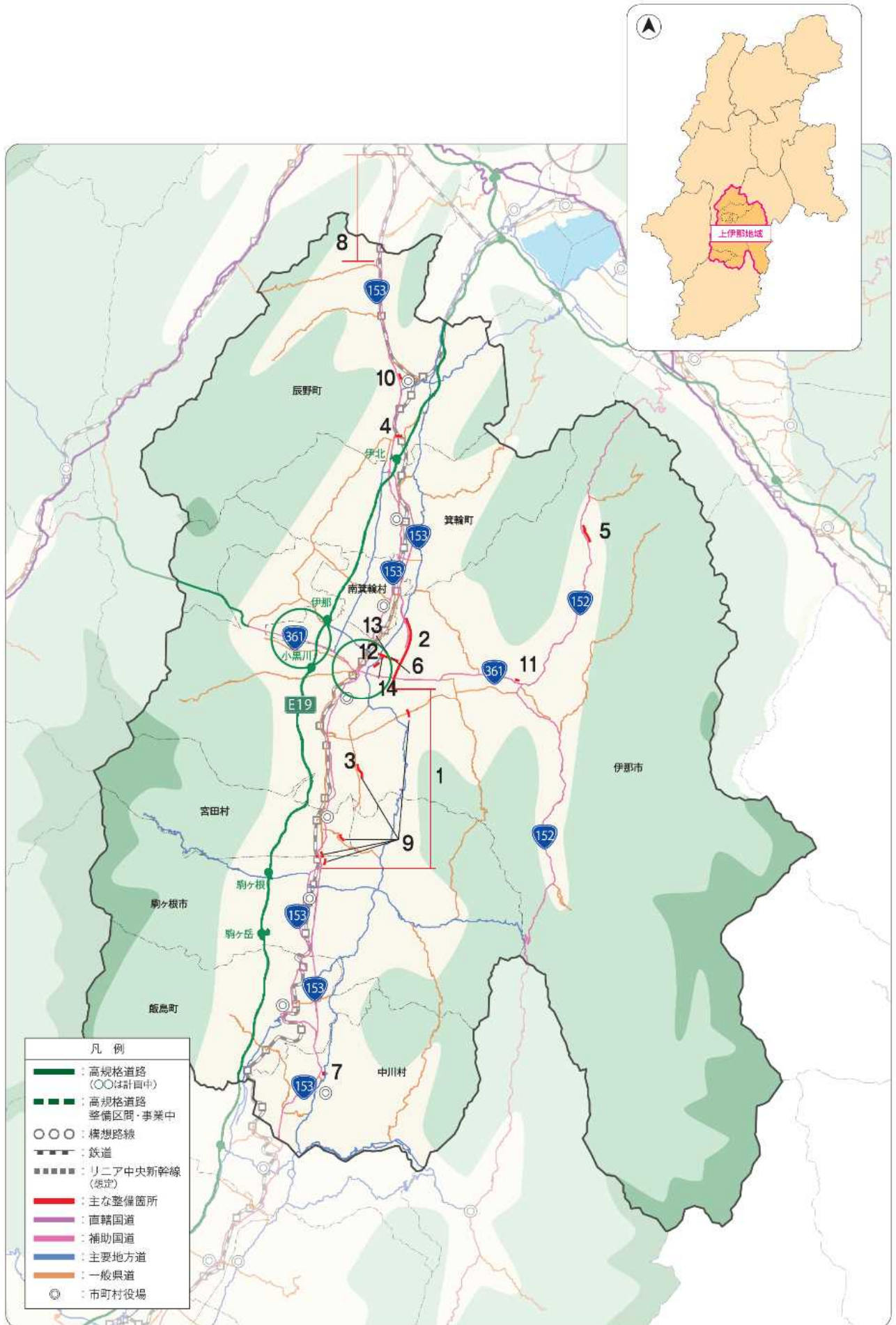
◆公共事業の主な整備箇所(2023～2027)

■上伊那地域管内

NO	路線名	箇所名	現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ		
				(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
道路改築事業													
1	(国)153号	駒ヶ根市 ～伊那市	伊駒アルプス ロード (権限代行)	整備促進 (国事業)									
2	(国)153号	伊那市 ～箕輪町	伊那バイパス	完成供用	●			●	●		●		●
3	(一)車屋大久保線	伊那市	下殿島～田原	完成供用				●	●		●	●	●
4	(一)与地辰野線	辰野町	下田	完成供用				●			●		
5	(国)152号	伊那市	荒町	整備推進	●			●	●		●		●
6	(主)伊那インター線	伊那市	中央～上の原	整備推進				●		●	●	●	●
7	(主)伊那生田飯田線	中川村	飯沼～北組	整備推進	●			●			●		
8	(国)153号	辰野町 ～塩尻市	両小野	調査	●			●	●		●	●	
9	(一)沢渡高遠線ほか	伊那市ほか	伊駒アルプス ロード関連	調査	●						●	●	
交通安全事業													
10	(国)153号	辰野町	宮所	完成供用				●					
電線共同溝事業													
11	(国)361号	伊那市	高遠	完成供用	●					●			
街路事業													
12	(都)竜東線	伊那市	中央北	完成供用	●			●	●		●		●
13	(都)環状北線	伊那市	山寺～中央	整備推進	●			●		●	●	●	●
14	(都)竜東線	伊那市	北町	整備推進	●			●	●		●		●

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。

県事業を対象に主な整備箇所と本ビジョンの施策との関連性を整理しました。

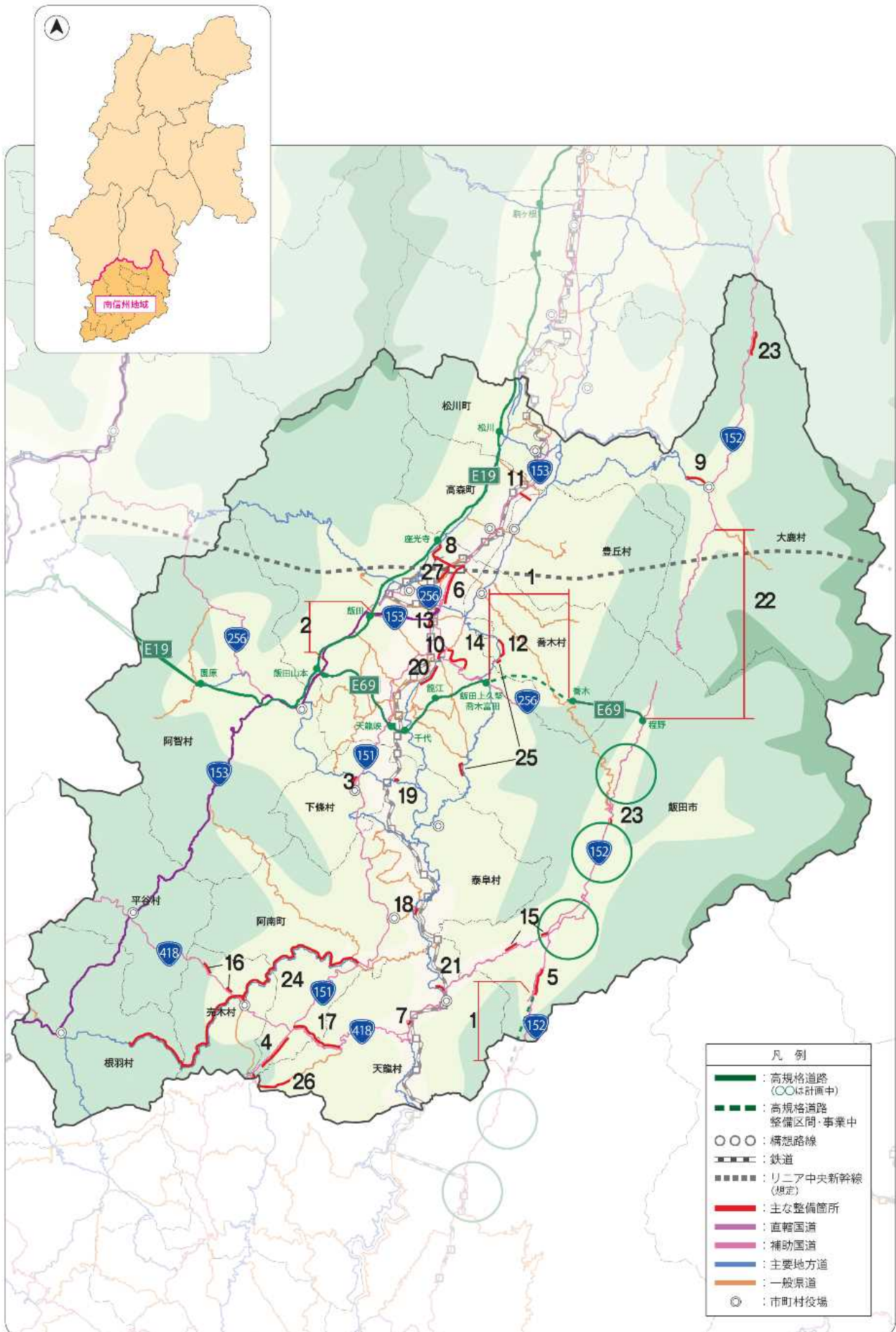


◆公共事業の主な整備箇所(2023～2027)

■南信州地域管内

NO	路線名	箇所名		現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ		
					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
高規格道路※														
1	三遠南信自動車道			整備促進 (国事業)										
道路改築事業														
2	(国)153号	(直轄事業)		整備促進 (国事業)										
3	(国)151号	下條村	粒良脇トンネル	完成供用	●			●		●	●	●		
4	(国)151号	阿南町	新野拡幅	完成供用	●					●		●		
5	(国)152号	飯田市	小嵐バイパス	完成供用	●					●	●	●		
6	(国)153号	飯田市	飯田北改良	完成供用	●			●	●	●	●	●		
7	(国)418号	天龍村	天竜川橋	完成供用	●		●	●	●		●		●	
8	(主)飯島飯田線・(一)上飯田線	飯田市	座光寺上郷道路	完成供用				●		●	●	●		
9	(主)松川大鹿線	大鹿村	落合	完成供用	●					●		●		
10	(主)飯田富山佐久間線	飯田市	知久平～南原	完成供用	●			●	●		●			
11	(一)市ノ沢山吹(停)線	高森町 ～豊丘村	新万年橋	完成供用				●			●	●	●	
12	(主)下条米川飯田線	飯田市 ～喬木村	下平～富田	部分供用				●	●		●			
13	(国)151号	飯田市	八幡町	整備推進	●			●	●		●		●	
14	(国)256号	飯田市	下久堅バイパス	整備推進	●			●	●		●	●	●	
15	(国)418号	飯田市	大町～下市場	整備推進	●			●			●	●	●	
16	(国)418号	売木村	岩倉橋～軒川	整備推進	●		●				●		●	
17	(国)418号	阿南町 ～天龍村	新野～川島	整備推進	●						●		●	
18	(主)飯田富山佐久間線	阿南町	中谷	整備推進	●						●		●	
19	(主)天竜公園阿智線	泰阜村	唐笠	整備推進	●						●			
20	(主)飯田富山佐久間線	飯田市	龍江	整備推進	●			●			●		●	
21	(主)飯田富山佐久間線	天龍村	松崎	整備推進	●						●		●	
22	(国)152号	大鹿村 ～飯田市	下青木～程野	調査	●						●	●		
道路防災事業														
23	(国)152号	伊那市 ～飯田市	市野瀬～木沢	整備推進	●									
24	(主)阿南根羽線	阿南町 ～根羽村	巾川～小戸名	整備推進	●									
25	(主)下条米川飯田線	下條村 ～飯田市	陽阜～弁天橋	整備推進	●									
県代行事業														
26	(村)大河内線	天龍村	大河内	部分供用	●									
街路事業														
27	(都)東新町座光寺線	飯田市	上郷	整備推進				●	●	●	●	●		

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。県事業を対象に主な整備箇所と本ビジョンの施策との関連性を整理しました。

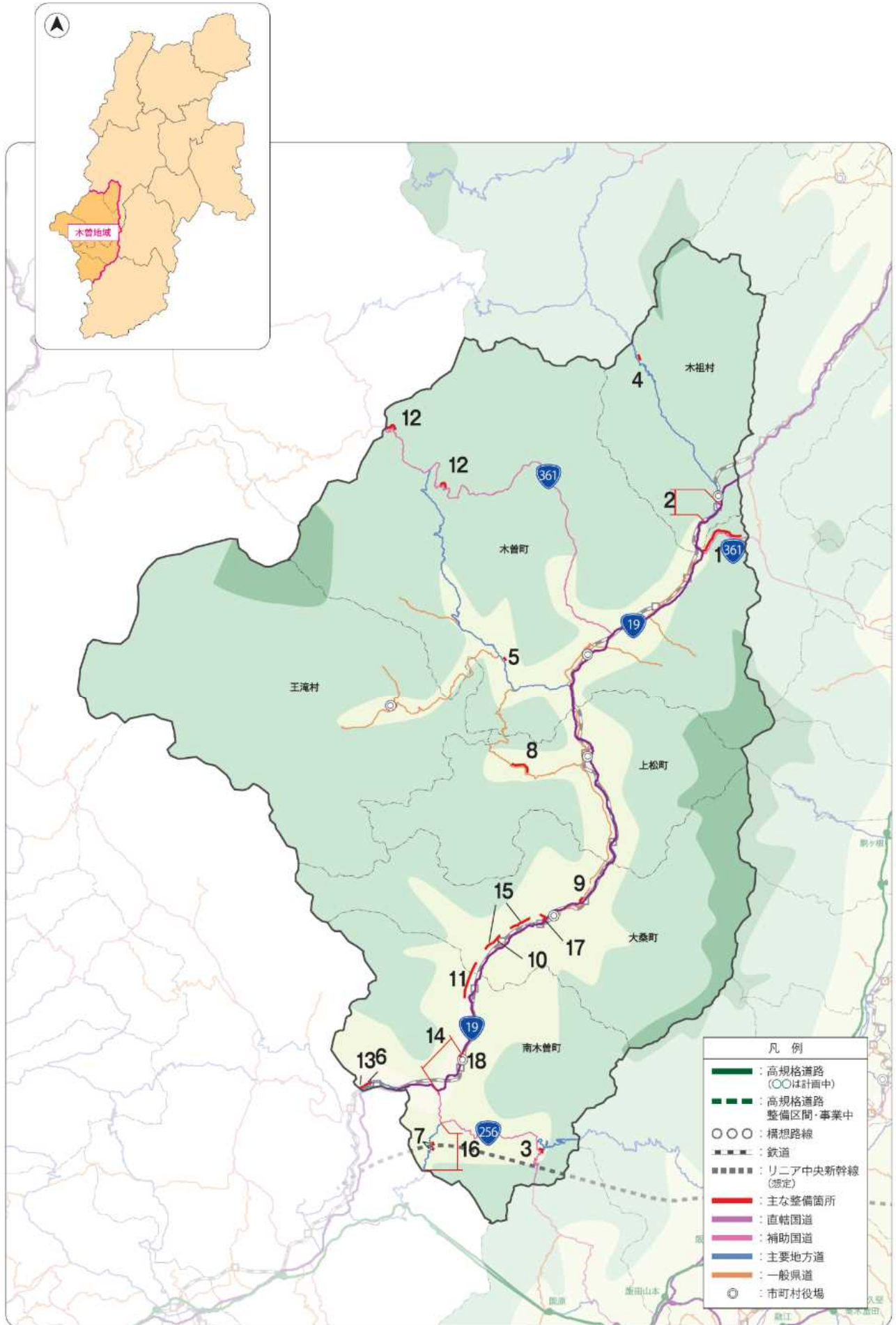


◆公共事業の主な整備箇所(2023～2027)

■木曽地域管内

NO	路線名	箇所名		現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ				
					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)		
高規格道路※																
1	伊那木曽連絡道路			整備推進	●	●					●	●	●			
道路改築事業																
2	(国)19号	(直轄事業)		整備促進 (国事業)												
3	(国)256号	南木曽町	漆畑拡幅3工区	完成供用	●						●		●			
4	(主)奈川木祖線	木祖村	境峠下	完成供用	●						●		●			
5	(主)開田三岳福島線	木曽町	小島トンネル	完成供用	●				●		●		●			
6	(主)中津川田立線	南木曽町	田立	完成供用		●		●	●		●	●				
7	(主)中津川南木曽線	南木曽町	妻籠	完成供用	●			●	●		●	●	●	●		
8	(一)上松御岳線	上松町	高倉橋	完成供用					●		●		●			
9	(一)上松南木曽線	大桑村	和村橋	完成供用		●	●	●	●		●	●				
10	(一)上松南木曽線	大桑村	殿～阿寺	完成供用		●					●	●	●			
11	(一)上松南木曽線	大桑村 ～南木曽町	読書ダム ～戸場	完成供用		●					●	●				
12	(国)361号	木曽町	長峰～九蔵	部分供用	●						●		●			
13	(主)中津川田立線	南木曽町	田立 (県境工区)	事業着手		●		●	●		●	●				
14	(一)上松南木曽線	南木曽町	川向～田立	事業着手		●					●	●	●			
15	(一)上松南木曽線	大桑村	殿～阿寺 (現道拡幅部)	事業着手		●			●		●					
16	(主)中津川南木曽線	南木曽町	県境～妻籠	調査	●			●	●		●		●			
県代行事業																
17	(村)長野殿線	大桑村	大桑～殿	完成供用	●								●			
18	(町)川向榔野線	南木曽町	高瀬橋	整備推進	●								●			

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。県事業を対象に主な整備箇所と本ビジョンの施策との関連性を整理しました。

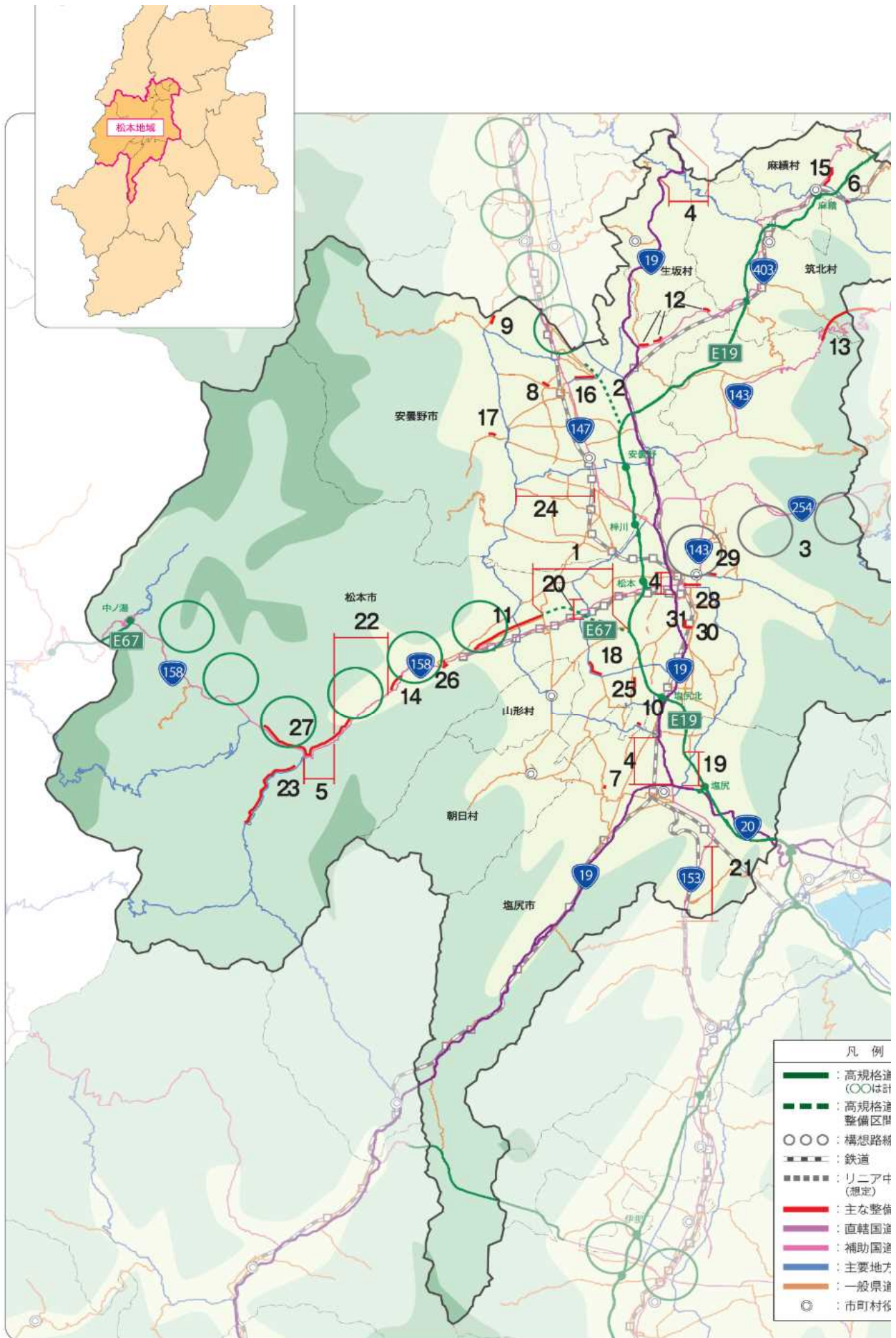


◆公共事業の主な整備箇所(2023～2027)

■松本地域管内

NO	路線名	箇所名		現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ		
					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
高規格道路※														
1	中部縦貫自動車道			整備促進 (国事業)										
2	松本糸魚川連絡道路			整備推進	●						●	●	●	
構想路線														
3	松本佐久連絡道路			調査	●						●	●	●	
道路改築事業														
4	(国)19号		(直轄事業)	整備促進 (国事業)										
5	(国)158号	松本市	奈川渡改良 (権限代行)	整備促進 (国事業)										
6	(主)大町麻績インター千曲線	筑北村	坂井小学校前	完成供用				●	●		●			
7	(一)上今井洗馬(停)線	塩尻市	洗馬	完成供用				●	●		●			
8	(一)小岩岳穂高(停)線	安曇野市	富田橋	完成供用			●	●	●		●	●	●	
9	(一)有明大町線	安曇野市	宮城北	完成供用				●			●		●	
10	(主)塩尻鍋割穂高線	松本市	笹賀	部分供用				●	●		●	●		
11	(一)波田北大妻豊科線	松本市	島々～三溝新田	部分供用				●			●	●	●	
12	(国)403号	安曇野市	名九鬼～木戸	部分供用	●	●		●			●	●	●	
13	(国)143号	松本市 ～青木村	青木峠バイパス	整備推進	●						●		●	
14	(国)158号	松本市	狸平	整備推進	●				●		●	●	●	
15	(国)403号	麻績村	梶浦～本町	整備推進	●	●		●	●		●	●	●	
16	(主)穂高明科線	安曇野市	狐島	整備推進				●	●	●	●			
17	(一)豊科大天井岳線	安曇野市	須砂渡	整備推進	●				●		●		●	
18	(主)松本環状高家線	松本市	神林～和田	事業着手	●				●	●	●	●	●	
19	(主)松本塩尻線	塩尻市	片丘～棧敷	事業着手					●	●	●	●	●	
20	(主)松本環状高家線	松本市	新村	事業着手	●						●	●	●	
21	(国)153号	辰野町 ～塩尻市	両小野	調査	●				●	●	●	●		
22	(国)158号	松本市	鵬雲先～稲核	調査	●						●	●		
23	(主)奈川木祖線	松本市	奈川渡～黒川渡	調査	●									
24	(主)安曇野インター堀金線	安曇野市	本村	調査	●				●	●	●			
交通安全事業														
25	(一)松本空港線	松本市	町神	完成供用					●					
道路防災事業														
26	(一)大野田梓橋(停)線	松本市	八景山	完成供用	●									
27	(国)158号	松本市	中ノ湯 ～稲核橋下	整備推進	●									
街路事業														
28	(都)松本駅北小松線	松本市	梶	完成供用	●				●	●	●	●		●
29	(都)宮渕新橋北小松線	松本市	清水～惣社	整備推進	●				●	●	●	●		●
30	(都)出川双葉線	松本市	出川～双葉	整備推進					●	●		●		
31	(都)芳野双葉線	松本市	双葉	整備推進					●	●		●		

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。
県事業を対象に主な整備箇所と本ビジョンの施策との関連性を整理しました。

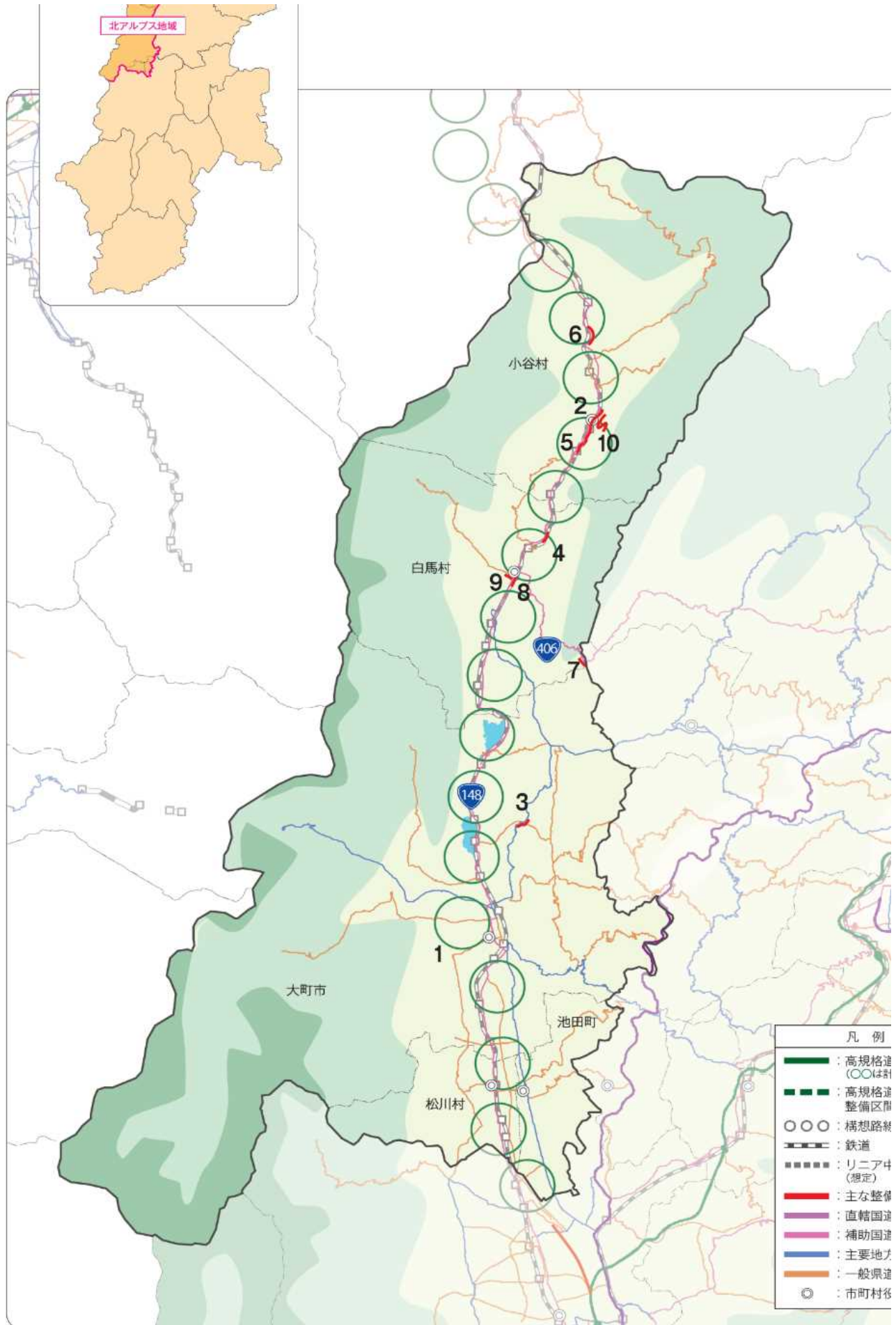


◆公共事業の主な整備箇所(2023～2027)

■北アルプス地域管内

NO	路線名	箇所名		現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ		
					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
高規格道路※														
1	松本糸魚川連絡道路			整備推進	●							●	●	●
道路改築事業														
2	(国)148号	小谷村	雨中	完成供用	●			●	●		●		●	
3	(主)長野大町線	大町市	新行	完成供用	●				●		●			
4	(国)148号	白馬村	白馬北	部分供用	●			●	●		●		●	
5	(国)148号	小谷村	塩水	事業着手	●			●	●		●		●	
6	(国)148号	小谷村	外沢	調査	●			●	●		●		●	
道路防災事業														
7	(国)406号	白馬村 ～長野市	白沢トンネル ～小鍋	整備推進	●									
電線共同溝事業														
8	(国)148号	白馬村	白馬駅前	整備推進	●					●				
9	(一)白馬岳線	白馬村	白馬駅前	整備推進	●					●				
県代行事業														
10	(村)伊折線	小谷村	柳瀬	完成供用	●								●	

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。

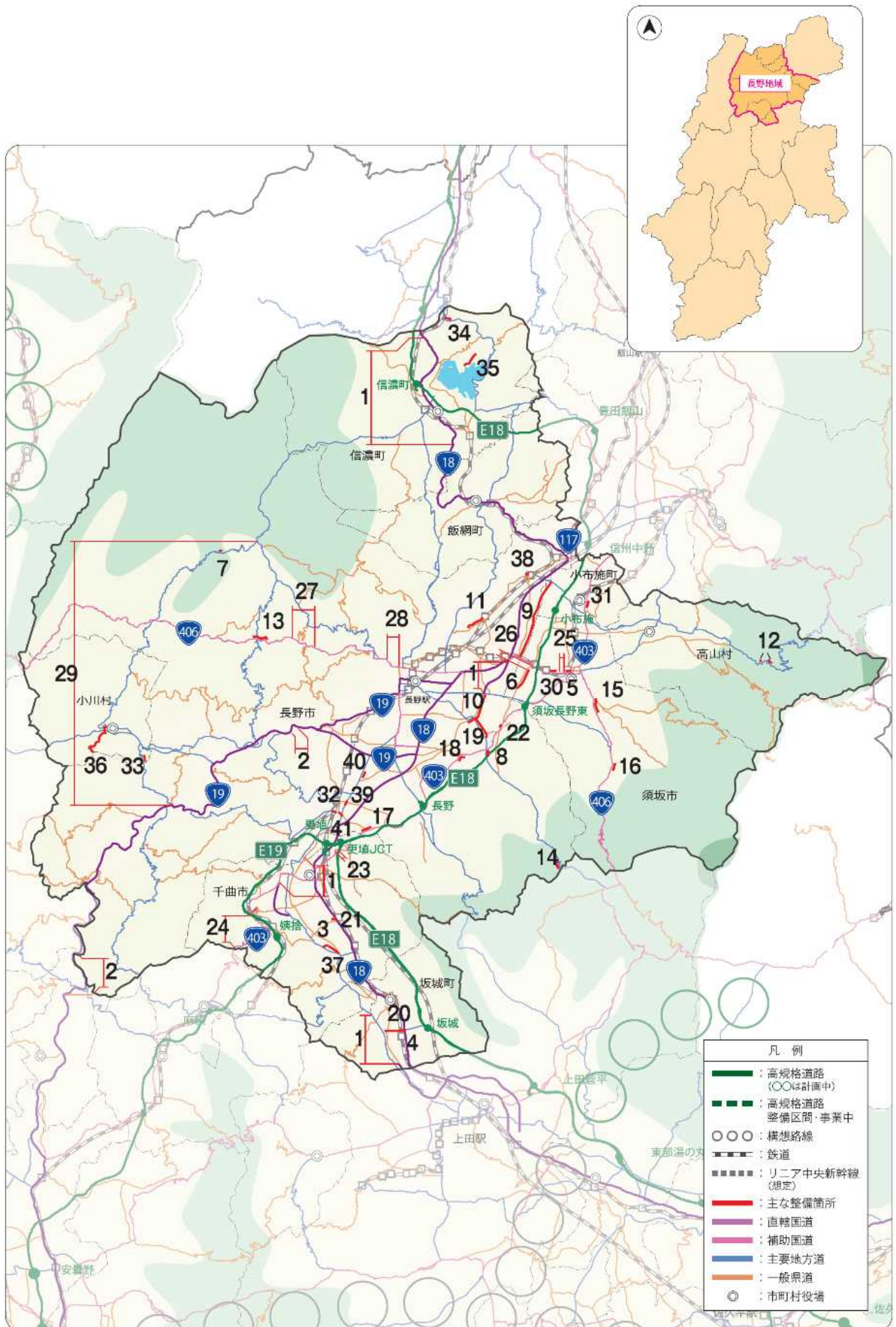


◆公共事業の主な整備箇所(2023~2027)

■長野地域管内

NO	路線名	箇所名		現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ		
					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
道路改築事業														
1	(国)18号	(直轄事業)		整備促進 (国事業)										
2	(国)19号	(直轄事業)		整備促進 (国事業)										
3	(主)長野上田線	千曲市	若宮	完成供用	●			●	●		●		●	
4	(主)坂城インター線	坂城町	中之条	完成供用	●			●	●		●	●	●	
5	(国)406号	須坂市	南横町	完成供用	●			●	●	●	●		●	
6	(一)村山綿内(停)線	須坂市	中島~福島	完成供用							●		●	
7	(主)信濃信州新線	長野市	上楠川 ~菅谷地	完成供用	●				●		●		●	
8	(主)長野菅平線	長野市	若穂	完成供用			●	●	●		●	●	●	
9	(一)村山豊野(停)線	長野市 ~小布施町	長沼~吉島	完成供用				●			●			
10	(一)三才大豆島中御所線	長野市	北長池 ~大豆島	完成供用				●	●		●	●	●	
11	(一)長野豊野線	長野市	徳間~西三才	完成供用				●	●		●			
12	(主)豊野南志賀公園線	高山村	温泉~牧場	部分供用	●				●		●		●	
13	(国)406号	長野市	戸隠祖山	部分供用	●			●	●		●		●	
14	(主)長野菅平線	長野市	菅平下	部分供用	●						●	●	●	
15	(国)406号	須坂市	村石町	整備推進				●	●		●		●	
16	(国)406号	須坂市	仁礼	整備推進				●	●		●		●	
17	(国)403号	長野市	岩野	整備推進	●			●	●		●	●	●	
18	(国)403号	長野市	関崎橋東	整備推進	●			●	●		●	●	●	
19	(主)長野菅平線	長野市	落合橋 (大豆島~牛島)	整備推進	●		●	●	●		●	●	●	
20	(主)坂城インター線	坂城町	中之条~網掛	事業着手	●			●	●		●	●	●	
21	(一)内川姨捨(停)線	千曲市	内川	事業着手				●	●		●			
22	(国)403号	長野市	綿内	事業着手	●			●	●		●	●	●	
23	(国)403号	千曲市	屋代	調査	●						●	●		
24	(国)403号	千曲市	展望台~聖湖	調査	●	●					●	●		
25	(国)406号	須坂市	横町	調査	●			●		●	●		●	
26	(一)村山綿内(停)線	須坂市	村山~中島	調査							●		●	
27	(国)406号	長野市	古宮~小鍋	調査	●						●			
28	(国)406号	長野市	西長野	調査	●			●	●		●			
29	(主)信濃信州新線	長野市	戸隠~新町	調査	●				●		●		●	
交通安全事業														
30	(国)406号	須坂市	塩川町	完成供用				●	●					
31	(国)403号	小布施町	伊勢町~上町	部分供用				●						
橋梁補修事業														
32	(主)長野信州新線	長野市	篠ノ井南跨線橋	完成供用			●							
雪寒事業														
33	(主)信濃信州新線	小川村	穴尾	完成供用	●									
34	(主)飯山妙高高原線	信濃町	熊坂	整備推進	●									
県代行事業														
35	(町)野尻菅川線	信濃町	野尻	部分供用	●									
36	(村)16号線	小川村	立屋	部分供用	●									
街路事業														
37	(都)若宮線	千曲市	若宮	完成供用	●			●		●	●			
38	(都)豊野北線	長野市	豊野駅前	整備推進				●	●	●	●			
39	(都)県庁篠ノ井線	長野市	北原 ~篠ノ井駅入口	整備推進	●			●	●		●			
40	(都)県庁篠ノ井線	長野市	川中島~篠ノ井	整備推進	●			●	●		●			
41	(都)岩野二ツ柳線	長野市	御幣川	整備推進				●	●		●			

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。県事業を対象に主な整備箇所と本ビジョンの施策との関連性を整理しました。

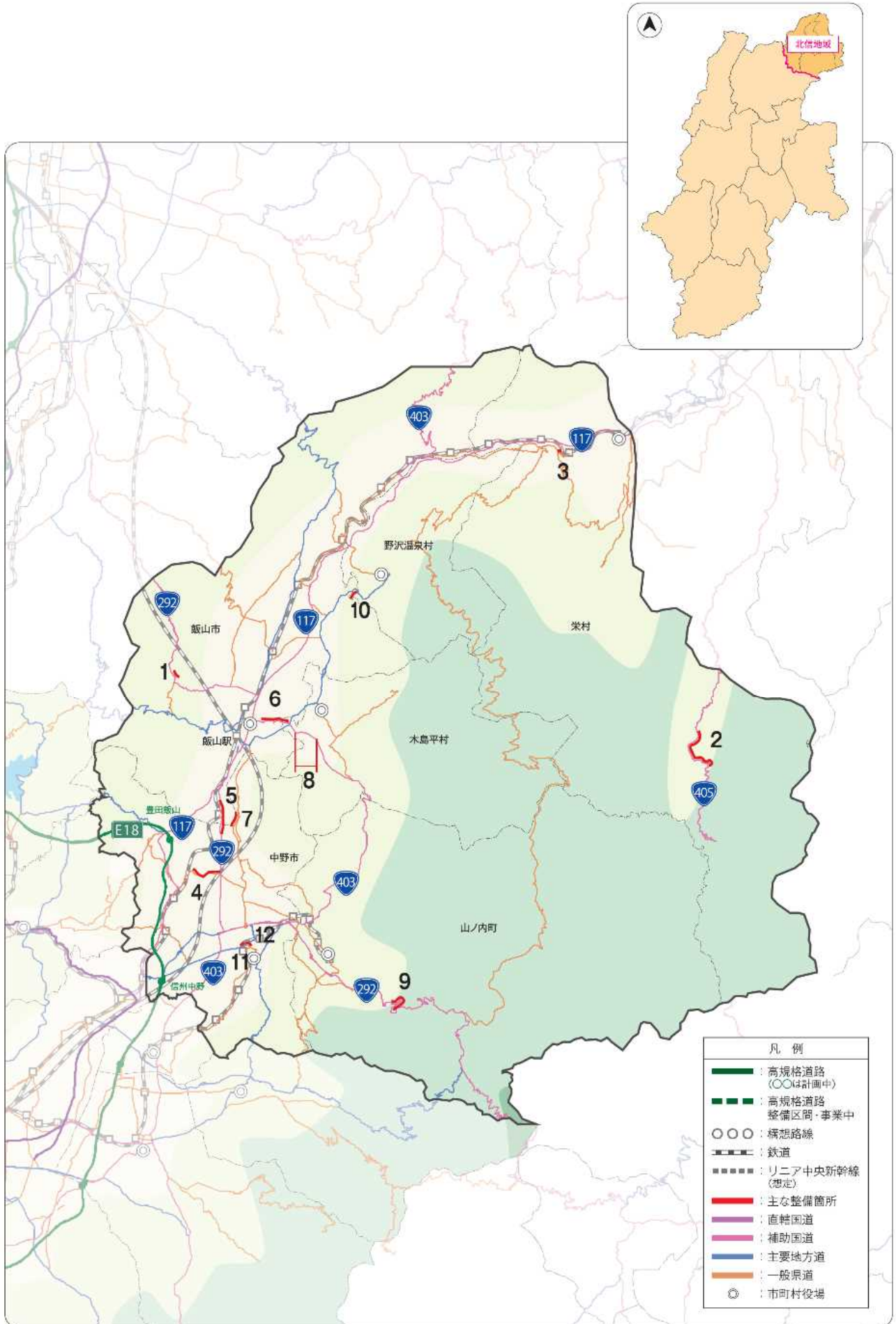


◆公共事業の主な整備箇所(2023～2027)

■北信地域管内

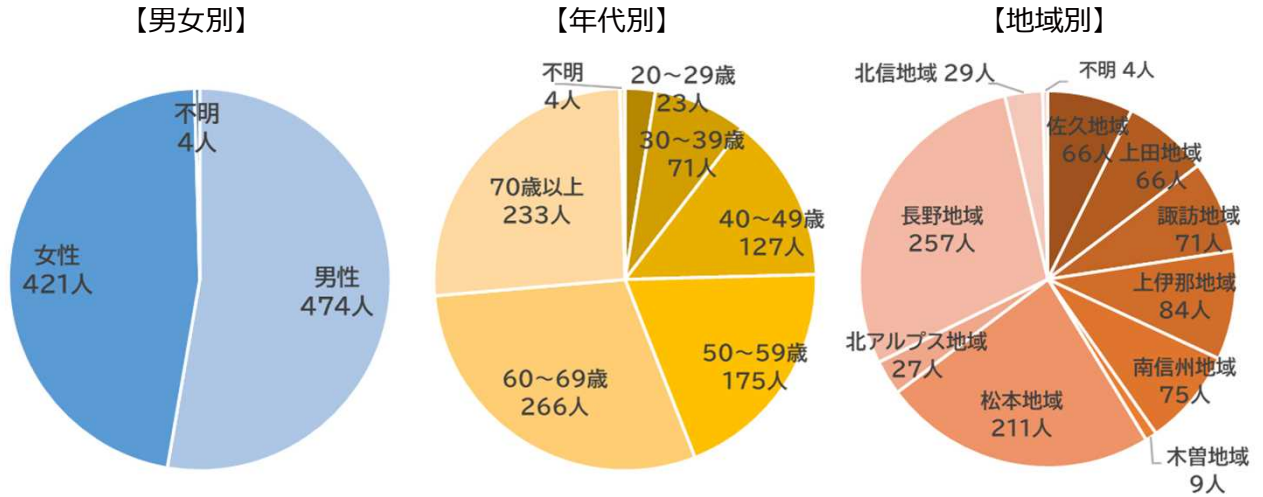
NO	路線名	箇所名	現5計 整備目標 (2027)	重点分野Ⅰ			重点分野Ⅱ				重点分野Ⅲ		
				(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
道路改築事業													
1	(国)292号	飯山市	大川トンネル	完成供用	●				●		●	●	
2	(国)405号	栄村	和山～上ノ原	完成供用	●				●		●	●	
3	(一)長瀬横倉(停)線	栄村	百合居橋	完成供用			●	●			●		
4	(一)豊田中野線	中野市	笠倉～壁田	完成供用	●			●			●	●	●
5	(国)292号	中野市 ～飯山市	古牧橋	整備推進	●	●	●		●		●	●	●
6	(国)403号	飯山市 ～木島平村	下木島	整備推進				●	●		●		●
7	(一)中野飯山線	中野市	柳沢北	事業着手				●	●		●		●
8	(国)403号	木島平村	上木島	調査							●		●
雪寒事業													
9	(国)292号	山ノ内町	十二沢	完成供用	●								
県代行事業													
10	(村)1-3号線他	野沢温泉村 ～飯山市	前坂～北竜湖	完成供用	●								
街路事業													
11	(都)立ヶ花東山線	中野市	吉田	整備推進	●			●	●	●	●		
12	(都)立ヶ花東山線	中野市	西町	整備推進	●			●	●	●	●		

主な整備箇所については、長野県総合5か年計画【しあわせ信州創造プラン3.0】において、提示されている「公共事業の主な整備箇所一覧」を参照し、計画策定時点での整備予定箇所のうち、全体事業費が概ね5億円以上と見込まれるものを代表的な箇所として掲載しています。

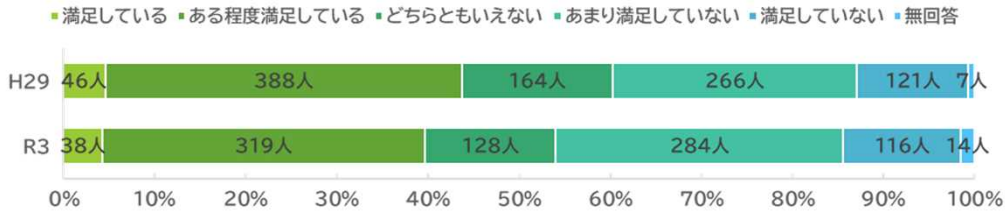


R3県政モニターによる道路整備のニーズ

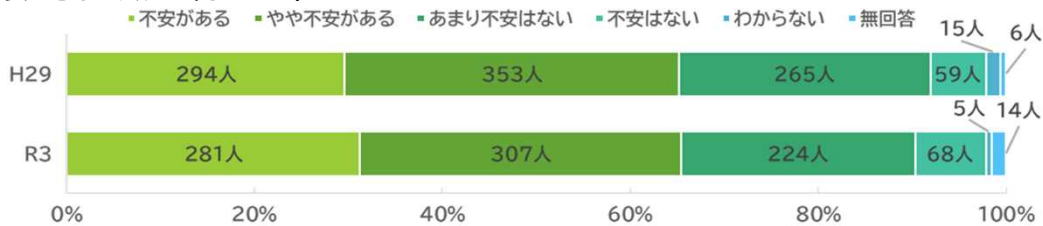
- (1)調査地域：長野県全域
- (2)調査対象：県政モニター 1,249人（現在の県政モニターは令和2年8月から登録）
- (3)調査方法：郵送又はインターネット
- (4)調査期間：令和3年8月31日(火)～9月14日(火)
【前回 平成29年5月30日(火)～6月12日(月)】
- (5)回答者数：899人（回答率 72.0%）【前回 992人（回答率80.7%）】



▶現在の道路整備状況について満足していますか。（○は1つ）



▶大地震や大雨などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について崩落や浸水による道路網分断等の不安を感じますか。（○は1つ）



▶今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。（○は3つまで）

道路の種類	R3年度		H29年度	
	回答者(人)	割合	回答者(人)	割合
通勤や買い物などの生活道路	537	60%	667	67%
いくつかの市町村を結ぶ幹線道路	389	43%	466	47%
市街地の道路	287	32%	339	34%
山間地の道路	272	30%	298	30%
観光地に通じる道路	167	19%	202	20%
隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)	148	16%	164	17%
高速道路	82	9%	115	12%
整備の必要はない	9	1%	13	1%
わからない	14	2%	17	2%
その他	74	8%	80	8%
無回答	31	3%	5	1%

▶ 日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。(○は3つまで)

	R3年度		H29年度	
	回答者(人)	割合	回答者(人)	割合
沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理	587	65%	724	73%
歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善	403	45%	490	49%
落石、土砂崩れの危険をなくす	344	38%	231	23%
すれちがいやすくなり、急カーブ・急勾配を減らす	285	32%	393	40%
交通渋滞をなくす	252	28%	325	33%
地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保	203	23%	223	22%
わかりやすい標識の設置や道路情報の提供	105	12%	120	12%
自然環境や景観への配慮	74	8%	110	11%
バス専用レーン、パークアンドライドや時差出勤などによる道路の効率的な利用	19	2%	39	4%
特になし	6	1%	3	0%
わからない	2	0%	2	0%
その他	37	4%	48	5%
無回答	46	5%	4	0%

▶ 高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路整備が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

	R3年度		H29年度	
	回答者(人)	割合	回答者(人)	割合
歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消	742	83%	863	87%
自転車と歩行者の通行空間の分離	482	54%	618	62%
高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内	350	39%	446	45%
ベンチを設置するなど休憩のできる歩道の整備	250	28%	330	33%
電線類の地中化、電柱の撤去	246	27%	247	25%
違法に放置された看板や放置自転車を撤去する	198	22%	262	26%
特になし	15	2%	14	1%
わからない	8	1%	7	1%
その他	47	5%	32	3%
無回答	13	1%	6	1%

▶ お住まいの地域が活性化するために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

	R3年度		H29年度	
	回答者(人)	割合	回答者(人)	割合
周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備	470	52%	470	47%
歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備	441	49%	507	51%
大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備	303	34%	393	40%
観光資源となるような美しい景観の道路の整備	244	27%	303	31%
バス同士やバスと鉄道などの乗り換えがしやすいターミナルや駅などの拠点の整備	186	21%	257	26%
野菜や魚介類などの生産地から消費地への迅速な輸送を可能にするための幹線道路の整備	170	19%	226	23%
観光地へ行きやすくする道路整備	161	18%	188	19%
高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)や道の駅を活用した地域拠点の整備	150	17%	204	21%
工場建設などの民間の投資と連携した高速道路のインターチェンジ(IC)や空港などへのアクセス道路の整備	137	15%	178	18%
特になし	26	3%	31	3%
わからない	15	2%	10	1%
その他	52	6%	58	6%
無回答	13	1%	7	1%

用語解説

【あ】		掲載ページ
アクセス道路	空港や港湾など、ある目的となる地点へ通行するための道路のこと	29,32,43,45,68
アダプト	自治体と住民組織が役割分担して、道路や河川の維持美化活動を行う仕組み	33
ウォークアブルなまちづくり	都市空間を車中心からひと中心の空間へ転換し、居心地が良く歩きたくなる空間整備を行うこと	25
【か】		掲載ページ
緊急輸送道路	災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する基幹的な道路	11,15,16,35,36,39
グリーンインフラ	社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組のこと	25
高規格道路	人流・物流の円滑化や活性化によって我が国の経済活動を支えるとともに、激甚化、頻発化、広域化する災害からの迅速な復旧・復興を図るため、高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはこれらを補完して機能する道路であり、求められるサービス速度が概ね60km/h以上の道路	29,30,36,38,41,43,44,47,49,55,57,59,61
公衆無線LAN	多数の利用者を相手として、無線LANを利用したインターネットへの接続を提供するサービス	31,36
コンパクト+ネットワーク	拠点機能のコンパクト化と交通ネットワーク等の構築により生活サービスの効率化等を目指す形態	5,6,13
【さ】		掲載ページ
信州ナビ	長野県が運用する「県内のバス・鉄道等の交通案内」や「観光情報」を“まるごと提供”するスマートフォン向けの無料アプリケーション	33
重要物流道路	平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、物流上重要な道路輸送網として国土交通大臣が指定した路線	5,11,15,16,35,36,37,38,41
ゾーン30プラス	生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度30km/hの区域規制と、狭さくやスラローム等の物理的デバイスの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域のことをいい、警察と道路管理者が連携して整備を進めているもの	21
【た】		掲載ページ
代替・補完路	「代替・補完路」は重要物流道路と併せて国土交通大臣が指定する路線。代替路は、重要物流道路における脆弱区間等に対する迂回ルート。補完路は、重要物流道路から防災拠点等へのルート	15,16,37,38
第二次医療施設 第三次医療施設	第二次医療施設は、手術や入院が必要な重症患者に対応する救急医療。第三次医療施設は、二次では対応できない重篤患者や特殊疾病患者の受け入れ、より高度な救命救急医療を提供する	27
ダブルネットワーク	その区間の物流容量が増加し、高速化し、不測の事態(災害、事故、工事等)が生じても完全途絶しないリダンダンシーを確保していることを意味する	18,41
長寿命化修繕計画	安全で安心な道路サービスを提供するとともに、ライフサイクルコスト縮減と維持管理費の平準化を図ることを目的として、道路を構成する各施設それぞれの性質に応じた適切な維持管理を行うための計画	19,35
超スマート社会	社会の変革(イノベーション)を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人一人が快適に活躍できる社会	8
トンネル・峠カード	トンネルや道路整備の紹介を通じて、土木構造物やインフラの役割を知ってもらうとともに誘客するためのカード型パンフレット	33
道路啓開	緊急車両等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを開けること	17
【な】		掲載ページ
日本風景街道	地域の人々と行政が力を合わせて、風景、自然、歴史、文化など、地域の魅力を「みち」でつなぎながら「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による美しい景観づくりや魅力ある地域づくりを実現しようとする取り組みのこと	33
農ある暮らし	生活の中に「農」を取り入れ、土を耕し作物を育て、四季の野菜や果物を収穫し味わう喜びを感じながら暮らすライフスタイル	2

【は】		掲載ページ
ビッグデータ	デジタル化の更なる進展やネットワークの高度化, IoT関連機器の小型化・低コスト化等によって得られる膨大なデータ(スマートフォン等を通じた位置情報や行動履歴などに関する情報等)	8,23
ほこみち制度	「歩行者利便増進道路」制度を略してほこみち制度という。道路管理者が歩行者利便増進道路の指定を行い、道路を「通行」以外の目的で柔軟に利用できるようにする制度のこと	5,25
本州中央部広域交流圏	北陸新幹線・幹線鉄道や空港、リニア中央新幹線、高規格道路等により東日本と西日本、太平洋と日本海を結び、本州の中央部に形成される大規模な交流圏	2,9,12,29,30,35,43
【ま】		掲載ページ
ミッシングリンク	高規格道路に未整備区間があるため、途中で切れていること	15,30,43
無電柱化	道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備による電線類地中化や、表通りから見えないように配線する裏配線などにより道路から電柱をなくすこと	15,21,25,26,35
【や】		掲載ページ
ユニバーサルデザイン	すべての人のためのデザインを意味し、年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などにかかわらず、できるだけ多くの人にわかりやすく、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること	21
【ら】		掲載ページ
ラウンドアバウト	交差点の一種で、中心の島の周囲を一方方向に周回する方式のうち、環状の道路に一時停止位置や信号機がないなどの特徴をもった環状交差点のこと	15
リニア中央新幹線	全国新幹線鉄道整備法の基本計画路線に位置付けられている「中央新幹線」を、時速500kmで走行する超電磁リニアモーターカーにより、東京都を起点に、終点の大阪市までを結ぶ新幹線のこと	5,7,14,29,45,46
【その他】 数字・アルファベット順		掲載ページ
1.5車線の道路整備	交通量など地域の実情に応じ、1車線改良・局部改良及び待避所設置を組み合わせる道路整備	27
AI	Artificial Intelligence の略。人工知能。人間の言語を理解したり、論理的な推論や経験による学習を行ったりするコンピュータプログラムなど	5,8,14,17,20
CIM	Construction Information Modeling の略。調査・計画・設計段階から「3次元モデル」等を導入し、その後の施工、維持管理においても、情報を充実させながら活用すること。事業全体にわたり関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化が図られる	19
DX	Digital Transformation の略。DXと表記するのは英語圏では接頭辞の「Trans」を「X」と書く慣習があるため。「デジタル技術」と「データ」を活用して、既存の業務プロセス等の改変を行い、新たな価値を創出して新たな社会の仕組みに変革すること	8
GX	Green Transformation の略。GXと表記するのは英語圏では接頭辞の「Trans」を「X」と書く慣習があるため。産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、社会経済システム全体の変革を行うこと	23,35
ICT	情報通信技術。情報技術の「IT(Information Technology)」に通信の「C(Communications)」を組み合わせた用語	5,8,17
UAV	無人航空機・ドローン等の機器	17

持続可能な開発目標(SDGs)について

SDGs(Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現をめざす世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



出典：外務省 国際協力局「持続可能な開発目標(SDGsと日本の取組)」

長野県建設部の道路関係組織



建設部

☎026-232-0111 (県庁代表)

<http://www.pref.nagano.lg.jp>



●道路管理課

michikanri@pref.nagano.lg.jp

●道路建設課

michiken@pref.nagano.lg.jp

●都市・まちづくり課

toshi-machi@pref.nagano.lg.jp

① 佐久建設事務所

☎0267-82-3101

sakuken-somu@pref.nagano.lg.jp

② 佐久建設事務所佐久北部事務所

☎0267-63-3111

sakuken-hokubu@pref.nagano.lg.jp

③ 上田建設事務所

☎0268-23-1260

ueken-somu@pref.nagano.lg.jp

④ 諏訪建設事務所

☎0266-53-6000

suwaken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑤ 伊那建設事務所

☎0265-78-2111

inaken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑥ 飯田建設事務所

☎0265-23-1111

iidaken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑦ 下伊那南部建設事務所

☎0260-32-2155

nambuken@pref.nagano.lg.jp

⑧ 木曾建設事務所

☎0264-24-2211

kisoken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑨ 松本建設事務所

☎0263-47-7800

matsuken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑩ 安曇野建設事務所

☎0263-72-8880

azumiken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑪ 大町建設事務所

☎0261-22-5111

omachiken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑫ 千曲建設事務所

☎026-273-1720

chikuken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑬ 須坂建設事務所

☎026-245-1670

suzakaken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑭ 長野建設事務所

☎026-233-5151

choken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑮ 北信建設事務所

☎0269-22-3111

hokuken-somu@pref.nagano.lg.jp

⑯ 北信建設事務所中野事務所

☎0269-22-3138

hokuken-nakano@pref.nagano.lg.jp

⑰ 北信建設事務所飯山事務所

☎0269-62-4111

hokuken-iiyama@pref.nagano.lg.jp



○長野県内の道路情報(道路情報広場Nagano)

<http://www.pref.nagano.lg.jp/michikanri/infra/doro/joho/hiroba/>

○道路の異常を発見したら

道路緊急
ダイヤル ☎ #9910

全国共通 ☎24時間受付無料



道路情報広場
Nagano



信州みちビジョン
令和5年(2023年) 10月 改定
長野県 建設部

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2
長野県建設部道路建設課

☎ 026-235-7304

✉ michiken-keicho@pref.nagano.lg.jp

🌐 <https://www.pref.nagano.lg.jp/>